

レファレンス・ツール紹介(人文系)

I 総記	3	III 宗教・哲学	22
1: 学術一般	3	III-1: 宗教	22
2: ジャーナリズム	3	IV 芸術・言語・文学	24
3: 出版	3	IV-1: 芸術	24
4: 図書館・図書館学	4	1: 美術	24
5: 図書・書誌学	4	2: 音楽	26
6: 古文献	4	3: 映画	26
7: 書誌・目録	6	4: 演劇	28
8: 百科事典 一般年鑑	7	IV-2: 言語	28
II 歴史・地理	8	1: 国語・国語辞典	28
II-1: 歴史	8	2: 格言・名言	29
1: 人物調査-主として近代以降	8	3: 方言辞典・古語辞典	29
2: 人物調査-近世以前	12	4: 語源・類語辞典	29
3: 日本史	17	5: 漢和辞典	29
4: 世界史	20	IV-3: 文学	30
5: 皇室事典	21	1: 文学	30
II-2: 地理	21	2: 和歌・短歌	32
1: 地理学	21	3: 漢詩の出典・書き下し・ 現代語訳	32
2: 地名辞典	21	4: 翻訳文献	33
II-3: 民俗	22	V 前近代の科学	34

■この冊子について

この資料は当初、日本研究情報専門家研修(平成17年度)研修資料『日本の参考図書』として作製された。その際、次の資料を参考にしている。

- ・日本の参考図書(第4版) ・日本の参考図書(1980年版) ・当館HP「参考図書紹介」
- ・当館HP「テーマ別調べ方案内」(のち、リサーチ・ナビ内に格納「調べ方案内」)

■日本の図書館界におけるこの冊子の位置づけ

この文献リストの冊子は、それぞれの知識分野にどのようなレファレンス・ツールがあるかを例示している。かつて、速報として季刊誌『日本の参考図書: 四季版』と、その累積版として『日本の参考図書』の2つの出版物によって担われていた役割を一時的、部分的に果たすものである。

つぎに類似のリストを、おおむね採録点数順に列挙するので参考にされたい。ちなみに、国会図書館の専門情報室における開架点数は、人文総合情報室だけで約3万点である。

○村上清子「日本を調べるための日本の参考図書(除く統計書)」『参考書誌研究』(55) p.54-87 (2001.10) ※全分野約200点。利点: 個人名で発表したものなので、踏み込んだ評価がなされている。ネット上にPDFあり。

(<http://mavi.ndl.go.jp/bibliography/tmp/55-04.pdf>)

○このリスト ※人文・総記分野のみを採録。約500点。

○情報源としてのレファレンスブックス / 長澤雅男, 石黒祐子. — 新版. — 日本図書館協会, 2004.5 ※約800点。定番。改訂が望まれる。ロングテールの部分がない。

○日本の参考図書

・日本の参考図書. — 日本図書館協会, 1980.1 ※全分野: 明治-1977年分まで5000点。

・日本の参考図書. — 第4版. — 日本図書館協会, 2002.9 ※全分野: 明治-1995年分7000点。1980年版を併用する必要がある。

・日本の参考図書Web版 デモ版 (<http://www.jrb-db.org/>) ユーザーID: demo パスワード: demo ※『日本の参考図書』の原稿用データを拡張。結果として解題書誌としては最も網羅的。ただしデモ版ゆえか解題文は表示されない。NDC前方一致で一覧性を担保している。(2011.10現在、動作不安定)

・「参考図書紹介」(<http://mavi.ndl.go.jp/sanko/>) ※『日本の参考図書: 四季版』の元原稿。全分野: 1993年分あたりから約数万点。解題つきでないものがある。一覧性が低いのが欠点。国会図書館HPの「リサーチ・ナビ」にある。

○邦語文献を対象とする参考調査便覧 / 片山喜八郎, 太田映子. — 書誌研究会, 2004 ※全分野約86000点。構成書誌レベル(本の一部、雑誌記事)のレファレンス・ツールの採録に特徴がある。

■凡例

○→代表的なレファレンスブック

・→例示的に示したレファレンスブック

◎→オンライン情報資源

□, ■→項目

※→注記

■今回の改訂について

この資料はレファレンス研修(平成23年度)の参考資料として作製した。前版(平成22年度)の内容を踏襲し、次のものを加えた。

苗字から引く家紋の事典／世界文学総合目録／中国医学史レファレンス辞典／近世公家名鑑編年集成／日本美術作品レファレンス事典、個人美術全集・絵画篇

URLは2011年10月現在

■I 総記

■I-1 学術一般

- 全国博物館総覧** / 日本博物館協会. — ぎょうせい, 1986.3-
- 博物館学文献目録. 2007** 内容分類編・著者名分類編 / 全国大学博物館学講座協議会50周年記念・博物館学文献目録編纂委員会. — 全国大学博物館学講座協議会, 2007.5
- 学会名鑑. 2007-2009年版** / 日本学術協力財団. — 日本学術協力財団, 2007.3
- 最新文化賞事典** [-1996], 1996-2003, 2003-2010 / 日外アソシエーツ, 1996-2011.2
- 舶来事物起原事典** / 富田仁. — 名著普及会, 1987.12
- Museums of the world 2011** / [editors: Ruth Lochar, Alexander Meinhold, Hildegard Toma].. — 18th ed.. — De Gruyter/Saur, c2011.

■I-2 ジャーナリズム

- NHK年鑑** 日本放送協会放送文化研究所(メディア情報) 日本放送出版協会, 年刊
- 日本民間放送年鑑** / 日本民間放送連盟. — コーケン出版, 年刊
- NHKデータブック世界の放送** / NHK放送文化研究所. — 日本放送出版協会, 年刊 ※資料編には、「各国地域の主要放送関係機関ウェブサイト一覧」他、収録。
- 日本新聞年鑑** / 日本新聞協会. — 電通, 1947- ※資料編には「世界新聞要覧」他、収録。現在の出版者は日本新聞協会。
- 放送関係文献総目録. 1-2** / 放送文献総目録作成委員会 日外アソシエーツ, 1983 ※1.～1967(昭和43年刊の複製。) 2.1967～1979 責任表示は放送関係文献総目録研究会。
- 放送関係雑誌目次総覧**. — 大空社, 1992.1 2冊 ※昭和元年～18年の放送関係雑誌の目次を掲載。

■I-3 出版

- 出版年鑑** / 出版ニュース社出版年鑑編集部 [編集]. — 1951年版 (1951)- ※1 資料・名簿編 2 目録・索引編。各年版は前年出版の書籍を収録(2008年版で書籍約7万8千点、電子書籍2万5千点)。1巻には、1946年からのベストセラー等の基本資料や、前年の『出版ニュース』掲載の書評一覧など。なお、在庫目録の『日本書籍総目録』は冊子体の刊行を終了し、2005年からBooks or jp(<http://www.books.or.jp/> 日次更新)に一本化。
- Book page** / 日外アソシエーツ株式会社. — 日外アソシエーツ, 年刊 ※別書名:本の年鑑。1988年創刊。書誌的事項のほか各図書の内容や目次が掲載されている。
- あなたはこの本を知っていますか** / 地方・小出版流通センター, 年刊 ※『出版年鑑』『BookPage』等に収録しない地方・小出版社の刊行物を収録する。参考:本と出版流通 (<http://neil.chips.jp/>)
- 雑誌新聞総かたろぐ** / メディア・リサーチ・センター株式会社, 年刊 ※分野別の雑誌・新聞の一覧。発行者の住所、発行部数、内容、当館請求記号などを掲載。
- 日本の出版社** / 出版年鑑編集部. — 出版ニュース社, 隔年刊
- 政府刊行物等総合目録** / 全国官報販売協同組合. — 全国官報販売協同組合, 年刊 ※政府の各種機関が発行した資料、関連する民間出版社の出版物を掲載。現在は「全官報」企画・資料課編。参考:国立印刷局「官報・政府刊行物」(<http://www.npb.go.jp/ja/books/>)もある。
- 出版指標年報** / 全国出版協会出版科学研究所, [19-], 年刊
- 出版データブック 1945-2000** / 出版ニュース社. — 改訂版. — 出版ニュース社, 2002
- 日本洋書協会ダイレクトリー** [199-]. — 日本洋書協会, 年刊- <http://www.jaip.jp/jp/index.html>
- Publishers' International ISBN Directory**. — K. G. Saur.

○Ulrich's periodicals directory. — R.R. Bowker 年刊 ※世界の雑誌のダイレクトリー。インターネット版
(<http://ulrichsweb.serialssolutions.com/>)もある

■I-4 図書館・図書館学

- 図書館ハンドブック**. — 第6版補訂版. — 日本図書館協会, 2010.2
- 最新図書館用語大辞典** / 図書館用語辞典編集委員会. — 柏書房, 2004.4
- 世界の図書館百科** / 藤野幸雄. — 日外アソシエーツ, 2006.3
- アーカイブ事典** / 小川千代子, 高橋実, 大西愛. — 大阪大学出版会, 2003.10 ※武家文書、幕府史料、村方文書、日本の文書館の動向、文書館の運営、資料保存の科学、文書のマイクロ化、デジタル化などについて解説する。
- 文書館用語集** 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会[他] 大阪大学出版会, 1997
- 文書館学文献目録** 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会 岩田書院, 2000
- 図書館学関係文献目録集成**. 明治・大正・昭和前期編 第1-2巻 / 天野敬太郎. — 金沢文圃閣, 2000.11. — (文圃文献類従 ; 2-1,2)
- 図書館学関係文献目録集成**. 戦後編(1945-1969) 第1-4巻 稲村徹元 金沢文圃閣, 2001-2002 — (文圃文献類従 ; 3-1~4)
- World Guide to Libraries. — K. G. Sauer.
- ◎BIBLIS for Web ver2.0 **図書館情報学文献目録データベース** <http://chipmunk.slis.tsukuba.ac.jp/biblis/> ※日本図書館情報学会作成。

■I-5 図書・書誌学

- 図書学辞典** / 長沢規矩也. — 長沢規矩也先生喜寿記念会, 1995.10
- 日本書誌学用語辞典** 川瀬一馬著 雄松堂書店, 1982年 1冊
- 日本古典籍書誌学辞典** 井上宗雄, 他編 岩波書店, 1999年 1冊 ※古典籍の用語を基本として、著名な古写本、古筆、古版本、蔵書家などを解説する。
- 日本古典書誌学総説** / 藤井隆. — 和泉書院, 1991.4 ※日本古典書誌学の研究者から、学生まで広く対象とした解説書。
- 新編蔵書印譜** 渡辺守邦・後藤憲二編 青裳堂書店, 2001年 1冊 ※古典籍にしばしば見られる旧所蔵者の印を調べられる。印の所用者(物故者)の五十音順に印譜を掲載。巻末に、典拠文献一覧、印文索引。
- 人と蔵書と蔵書印 国立国会図書館所蔵本から** 国立国会図書館 雄松堂出版, 2002年 ※『国立国会図書館月報』166号~477号(1975.1~2000.12)に連載された「国立国会図書館所蔵本 蔵書印」(その1~304)を収録したもの。印影とその使用者、蔵書の帰趨などを掲載。
- ◎**国会図書館ホームページ「蔵書印の世界」** <http://www.ndl.go.jp/zoshoin/index.html>
- 書物関係雑誌細目集覧** 書誌研究懇話会編 日本古書通信社, 1974-1976 2冊 ※収録範囲:戦前期
- 近世書籍研究文献目録** / 鈴木俊幸. — 増補改訂. — ペリかん社, 2007.3 ※江戸期を中心として、書籍や出版文化に関する文献を雑誌や図書から幅広く収録。補遺が『書籍文化史』9-10(鈴木俊幸編・刊 2008-09年)に収録。

■I-6 古文献

□総合目録

- 国書総目録 補訂版** 岩波書店, 1989-91年 9冊 ※近世以前に日本で刊行された写本・版本の総目録。「著者別索引」は、苗字は一般的な読みの五十音順に、名は音読みの五十音順に排列。書名の読みの確認には『国書読み方辞典』(植月博編 おうふう 1996年 1冊)があり、書名の先頭漢字の総字画数から検索ができる。

○**古典籍総合目録** 国文学研究資料館編 岩波書店, 1990年 3冊 ※『国書総目録』の続編。1988(昭63)年度分までを収載。活字本の情報は収録しない。

◎**日本古典籍総合目録(国文学研究資料館)** <http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/about.html> ※『国書総目録』『古典籍総合目録』(岩波書店刊)所収の著作とその後追加した著作を収録。(諸本とその所在情報はない)。タイトルキーワード、分類、刊行年等、冊子体目録ではできなかった検索が可能。

◎**全国漢籍データベース(全国漢籍データベース協議会)** <http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki> ※漢籍の総合目録。

◎**中央研究院漢籍電子文献(台湾)** <http://hanji.sinica.edu.tw/index.html> ※二十五史、十三経などの全文検索が可能。全文検索データベース。

○**文淵閣四庫全書電子版日本語版** CD-ROM版 デジタル文化出版 2005年 ※『四庫全書』を全文検索可能。

○**日本学術資料総目録** 書跡・典籍・古文書篇 1988年度版。一 朝日出版社, 1988.4 ※日本国内の博物館が所蔵する書跡・典籍・古文書の総合目録。約183,000項目(326館)を収録。作者別索引、所蔵館別索引を付す。

□個別機関の冊子体目録

- ・**岩瀬文庫図書目録** / 岩瀬文庫。一 岩瀬文庫, 1936
- ・**神習文庫図書目録** / 無窮会。一 名著出版, 1982.6
- ・**和書総目録** / 神宮司廳。一 戎光祥出版, 2005.3(神宮文庫)
- ・**静嘉堂文庫国書分類目録** 3冊 / 静嘉堂文庫。一 静嘉堂文庫, 1929-1956
- ・**尊経閣文庫国書分類目録** 2冊。一 ゆまに書房, 1999.12。一 (書誌書目シリーズ ; 50)
- ・**和漢図書分類目録** 4冊一 宮内庁書陵部, 1952-1955, 1968
- ・**大東急記念文庫書目**。[第1],第2 一 大東急記念文庫, 1955-1978
- ・**東北大学所蔵和漢書古典分類目録** 和書 4冊。一 東北大学附属図書館, 1976
- ・**内閣文庫国書分類目録** 3冊。一 改訂。一 国立公文書館内閣文庫, 1974
- ・**名古屋市蓬左文庫国書分類目録** 名古屋市教育委員会, 1976 他

□個別機関の解題

- ・**図書寮典籍解題**。[第1-5]、文学編 / 宮内府図書寮。一 国立書院, 1948-1960
- ・**大東急記念文庫貴重書解題**。第1-3巻。一 大東急記念文庫, 1956
- ・**天理図書館稀書目録**[1],2,3,4,5 天理図書館, 1940-2010 (天理図書館叢書 第12,15,25,43,46輯)

□目録データベース

- ◎**国文学研究資料館** <http://www.nijl.ac.jp/>
- ◎**国立公文書館(内閣文庫)** <http://www.archives.go.jp/index.html>
- ◎**東京大学史料編纂所** <http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- ◎**東洋文庫岩崎文庫** http://61.197.194.9/Database/IWASAKI_QueryInput_2.html

□マイクロ資料

原蔵機関以外でも、国文学研究資料館、東京大学史料編纂所などで、マイクロフィルムを所蔵している可能性がある。また、外壳マイクロフィルム(例:狩野文庫マイクロ版集成など)に含まれている可能性もある。

◎**国文学研究資料館マイクロ/デジタル資料・和古書所蔵目録** <http://base1.nijl.ac.jp/~micro/about.html>

◎**東京大学史料編纂所所蔵史料目録データベース** <http://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/db.html>

□画像データベース

◎早稲田大学古典籍総合データベース <http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/> ※30万点の資料を電子化(2009)

◎国立国会図書館のデジタル化資料 古典籍資料(貴重書等) <http://dl.ndl.go.jp/#classic> ※本草関係資料、絵本、錦絵など。

◎東京大学附属図書館電子化コレクション <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/coll/index.html> ※霞亭文庫、鷗外文庫など。

◎京都大学電子図書館貴重資料画像 <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/index.html>

◎奈良女子大学附属図書館電子画像集 <http://www.lib.nara-wu.ac.jp/libhp/gzdb.html> ※龍門文庫など。

◎東京都立図書館貴重資料画像データベース <http://metro.tokyo.opac.jp/tml/tpic/> ※錦絵など。

□解題書誌

○国書解題 / 佐村八郎. — 増訂. — 東出版, 1997.2. — (辞典叢書 ; 18,19) ※六合館大正15年刊の複製。古代から慶應3年末までに日本人が記した著作約2万5000部の解題書。網羅的な国書の解題書として唯一のもの。各書について序跋を引用し、目次をかかげ、内容を簡潔に解説し、更に著者の略伝を付す。著者、分類、書名の索引を付す。

○群書解題 / 続群書類従完成会 ; 第1巻 - 第13巻. — 続群書類従完成会, 1982-1988

○漢籍解題 / 桂五十郎. — 復刻版. — 明治書院, 2005.5

○中国史籍解題辞典 / 神田信夫, 山根幸夫. — 療原書店, 1989.9

○古朝鮮冊譜 / 前間恭作. — 東洋文庫, 1944-1957. — (東洋文庫叢刊 ; 第11) 3冊

○日本現存朝鮮本研究 集部 / 藤本幸夫. — 京都大学学術出版会, 2006.2

・日本史文献解題辞典 ※ p19 II-1-3 日本史「解題書誌」を参照

・史籍解題辞典 ※ p19 II-1-3 日本史「解題書誌」を参照

□郷土資料の解題書誌

・弘前図書館蔵郷土史文献解題. — 弘前図書館, 1970年

・上毛古書解題 / 篠木弘明著. — 歴史図書社, 1979年

・防長史料文献解題 / 山口県史編纂所、山口県編. — マツノ書店, 1989年

・肥後文献解題 / 上妻博之著. — 新訂. — 舒文堂河島書店, 1988年

■I-7 書誌・目録

□書誌の書誌

○日本書誌の書誌. 総載編, 主題編1-2, 人物編1 / 天野敬太郎. — 巖南堂書店, 1973-1984 ※総載編は一般書誌・所蔵目録で、維新以前(1277-1867年)215件、維新以降(1868-1965) など6335点、主題編1は0-2門で、1868-1970年発行の8560点、主題編2は7-9門で、1868-1970年発行の4908点、人物編1は7-9門で、1868-1970年発行の5450点を収録。人物編1は中国人、西洋人も含む。

○書誌年鑑 / 朝倉治彦, 深井人詩共編 ; '82 - 2009. — 日外アソシエーツ, 年刊 ※1997年版からは主題語の五十音順に排列。これより新しい文献目録が月刊『日本古書通信』に掲載の「最近の書誌図書関係文献」であるが、これは2008年に終了し、日外アソシエーツ運営のレファレンス・クラブ内HPに移った。 http://www.reference-net.jp/biblio_list.html

○主題書誌索引 / 深井人詩. — 日外アソシエーツ, 1981.9- ※81/91, 1992-2000, 2001-2007へ続く。

○Walford's guide to reference material.. — 8th ed.. — Library Association Publishing, 1999- ※新版はThe new

Walford : guide to reference resources\に改題している。

○American reference books annual. — Libraries Unlimited, c1970-

□雑誌総目次・総索引

○国立国会図書館所蔵国内逐次刊行物総目次・総索引一覧 平成7年1月末現在 / 国立国会図書館逐次刊行物部編。— 国立国会図書館, 1995

○日本雑誌総目次要覧 天野敬太郎, 深井人詩共編 日外アソシエーツ, 1985 ※84/93、94/2003もある。『書誌年鑑』誌名編も参照のこと(1997以降は「誌名編」なし。誌名をキーワードでひく)。

□雑誌記事索引 - 戦前を含むもの

○明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成。— 皓星社, 1996-1999年 136冊 ※社会科学を掲載する70巻と人文科学系の50巻、両者別立ての索引16冊からなる。皓星社HP (<http://www.libro-koseisha.co.jp/top01/main01.html>) より執筆者索引が検索可。

○雑誌索引：戦前雑誌記事索引 下戸前繁松編輯 大空社, 1994 4冊 ※収録年代:1941年(昭和16)まで

○明治前期学術雑誌論文記事総覧 改訂版 渡辺正雄編 ゆまに書房, 1990 ※収録年代:1887年頃(明治20年末)

・大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録 ※一部雑誌は明治期から収録する。

◎雑誌記事索引集成データベース <http://zassaku-plus.com/> ※皓星社が開発。有料データベース。同社『雑誌記事索引集成』を元にするが、各種総目次、地方史雑誌の目次などを追加入力しつつある。

◎国立国会図書館のデジタル化資料 <http://dl.ndl.go.jp/> ※本文画像は館外から閲覧できないが、戦前期の雑誌記事索引として書誌データは閲覧可能。

□総目次の集成

○東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧 大空社, 1993-1998 150冊

○明治雑誌目次総覧 ゆまに書房, 1985 5冊

○近代雑誌目次文庫 目次文庫編集委員会編 ゆまに書房, 1989-刊行中 ※国語・国文学編 24巻、外国語・外国文学編 20巻 他に社会学編も刊行。

○学会年報・研究報告論文総覧 日外アソシエーツ編刊, 1994.7-98.10 全18冊 ※1945-90年の約25万件の論文を収録。5冊と別巻総索引:執筆者名・収録誌名・学術団体名。1991-1995版(全6冊),1996-2002版(全6冊),2003-2009版(全6冊)もある。※CD学会年報・研究報告論文総覧:1945-1995(日外アソシエーツ, 2001)もあり

□雑誌記事索引

○大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録 -1984年、1985-87年、1988-95年 大宅壮一文庫編著 紀伊国屋書店 1980-97年 28冊 ※明治から現在までの雑誌の記事を人名編と件名編に大別して採録。大衆誌や週刊誌など学術雑誌以外の雑誌を収録の対象としている。1988-1991年版〜はCD-ROM版が刊行されている。

◎Web OYA-bunko <http://www.oya-bunko.com/> ※データは1988年以降。

◎GeNii 学術コンテンツ・ポータル <http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>

◎NII-REO 電子ジャーナルリポジトリ <http://reo.nii.ac.jp/oja>

◎JDreamII <http://pr.jst.go.jp/jdream2/> ※科学技術中心だが図書館情報学なども。

■I-8 百科事典 一般年鑑

○日本大百科全書。— 2版。— 小学館, 1994.1

- 世界大百科事典** — 2007年改訂新版. — 平凡社, [2007.9]
- 対訳日本事典** The Kodansha bilingual encyclopedia of Japan / 講談社インターナショナル株式会社. 1998.2
- 読売年鑑** 読売新聞東京本社, 1949- 年刊
- ギネス世界記録** ポプラ社, 2004- ※出版者は2008-2010:ゴマブックス、2011:角川マーケティング 参考:
Guinness World Recordsのウェブサイト(<http://www.guinnessworldrecords.com/>)
- The New Encyclopaedia Britannica** 15th ed.. — Encyclopaedia Britannica, c2007.
- 古事類苑** 吉川弘文館, 1999.5
- 広文庫** / 物集高見,物集高量. 名著普及会, 1976-77

■ II 歴史・地理

■ II-1 歴史

■ II-1-1 人物調査 -主として近代以降

□現在活躍中の人物

- 日本紳士録** 第80版 交詢社[他]. — ぎょうせい, 2007.4 3冊 ※創刊が1889年(明治22). 実業界・官界・教育界・芸術界他、各分野で活躍中の人物、約11万人を紹介。第80版で終刊。
- 人事興信録** 第45版 興信データ, 2009.1 2冊 CD-ROM1枚 ※創刊が1903年(明治36). 約9万家庭を登載。現代日本の政治、経済、教育、放送、芸術等で活躍する日本人・在日外国要人を収録。『日本紳士録』よりも収録した人物の家族構成の記載が詳細。
- 現代日本人名録** 1987、1990、1994、1998、2002、2004 日外アソシエーツ, 1987-2004年 18冊 ※2004年版(CD-ROM1枚)は日本で活躍する在日外国人を含め、13万人を収録。物故者、15才未満、現役を退いた人物等は除く。各年版共に立項された人物が加除され、新しい情報に書き換えて掲載している。
- ◎**日外アソシエーツ現代人物情報 人物情報横断検索** <http://db.g-search.or.jp/> ※有料
- 現代日本執筆者大事典** 第4期 1992/2002 日外アソシエーツ, 2003年 4冊 索引CD-ROM ※図書、新聞、雑誌等において、主に人文・社会科学分野で執筆活動をした人物、約1万人の略歴、著作、連絡先などを掲載。第1-3期として『現代日本執筆者大事典1965/76、1977/82』『新現代日本執筆者大事典 1983/92』がある。
- 著作権台帳(文化人名録)** 26版 日本著作権協議会, 2001年 2冊 ※著作、略歴等の情報が得られる。CD-ROM版(2002年刊)を最後に刊行中止。※『文芸年鑑』(新潮社 年刊)巻末には「著作権継承者名簿」を収録。
- 職員録** 上、下 国立印刷局 1886年(明治19)- 年刊 ※上巻:国の機関・特殊法人、下巻:都道府県・市町村公務員の人名録。組織別に係長程度以上を収録。『官員録・職員録目録』(国立国会図書館, 1985.7)は、当館所蔵の官員録・職員録(明治元年～昭和22年)を掲載。
- 研究者・研究課題総覧** 学術情報センター監修, 1996年 9冊 ※国公立、私立の大学や短期大学、高等専門学校、大学附属や文科省管轄の研究所などに所属している研究者を収録。
- ◎**Read(研究開発支援総合ディレクトリ) 科学技術振興機構** <http://read.jst.go.jp/>
- 全国大学職員録** 国公立大学編、私立大学編 広潤社, 年刊 ※都道府県別に北海道から沖縄まで大学ごとに学長、教授、助教授、専任講師、大学職員などを収録。巻末に五十音順排列の人名索引を付す。平成18年版で廃刊。『全国短大・高専職員録』も。

□一般的人物事典

- 日本人名大事典** 平凡社, 1979年 7冊 ※本編は『新撰大人名辞典』(1936-1941年)の補訂。本編6冊は1938年8月までの物故者、現代編は新しく編集・刊行されたもので、1938年9月～1978年8月までの物故者を収録する。収録

人数は合計約56,000人で、規模の大きい標準的な人名事典。略伝、業績、著書などを記す。出典を明記した解説も多く、歴史上の人物の略伝調査に便利。

○**日本人名大辞典** 講談社, 2001年 1冊 ※約65,600人を収録。古代から現代まであらゆる分野で活躍した人々を網羅。女性や日本文化に貢献した外国人、昔話や物語の主人公、架空の人物も取り上げる。名言、肖像画や肖像写真、系図などを随所に掲載。付属のCD-ROM版による検索可能。

○**朝日日本歴史人物事典** / 朝日新聞社。— 朝日新聞社, 1994.11 ※古代から大正までの日本の歴史に登場する人物、神話・伝承。文学作品等の登場人物、日本で活躍した外国人を含む13,000人について、歴史の転換期における再評価を試みた人名事典。各項目は執筆者明記のもと、生没年月日、小伝、代表的著作、参考文献、伝記類等を記す。

○**「現代日本」朝日人物事典** 朝日新聞社, 1990. ※昭和時代以降に1日でも生存した日本人及び日本で活躍した外国人、約10,900人を1990年10月のデータで収録。生没年月日、業績、経歴、業績の評価、人柄、著書などを署名記事により記載。

○**コンサイス日本人名事典** / 三省堂編修所[他]。— 第5版。— 三省堂, 2009.1 ※約13,000項目を収録。ハンディであるが充実した内容。人名の読み方、略歴、活躍年代など適切な知識を得るのに便利。版を重ね、特に近現代の人物に重点が置かれている。

○**日本近現代人名辞典** / 臼井勝美。— 吉川弘文館, 2001.7 ※『国史大辞典』(全15巻 1979～1997年刊)収録の近現代の人名項目を基にして、ペリー来航(1853年)から平成11年(1999年)末まで活躍した人物45,000余名を収録。索引(漢字画引、人名五十音順、文献、事項)と、死亡年月日順の項目一覧を付す。『国史大辞典』から作成された人名辞典として、『日本近世人名辞典』『日本古代中世人名辞典』もある。

○**日本近現代人物履歴事典** / 秦郁彦。— 東京大学出版会, 2002.5 ※明治維新前後から2000年前後までに活躍した各界の著名人物(3,246人)を年譜スタイルにより、略歴を掲載。著書、自伝、伝記なども記す。事績や評価は原則として記されない。

○**現代人物素描事典 1-2** / ドキュメント人と業績大事典編集委員会[他] ナダ出版センター, 2002 (ドキュメント人と業績大事典 ; 別巻1-2) ※一般の人物事典とは異なり、人物の人間像や物の考え方を、新聞掲載の本人の言葉や同時代の記者・識者の言葉によって素描し、これに略歴を付す。第1巻は、戦後の新聞20数紙に掲載の4,500余名を収録。第2巻は、「キーワード索引」、「出身校別人名索引」、「出身地別人名索引」、「肖像索引(写真・似顔絵)」の各種索引からなる。

○**ドキュメント人と業績大事典** / ドキュメント人と業績大事典編集委員会。— ナダ出版センター, 1999 全25巻 索引 ※国立国会図書館が作成した「新聞切抜資料」を基礎データとして編纂された、新聞記事による人物記事資料集。1947(昭和22)年1月から1985(昭和60)年1月までの記事を対象に、各分野で活躍した日本人約4,000余名を収録。排列は人名の読みの五十音順。

○**苗字から引く家紋の事典** / 高澤等。— 東京堂出版, 2011.1 ※苗字から引けるのが特色。

□物故者

各種年鑑の「物故者」の欄は人名事典に出ないような人物でも、掲載している事が多い。

○**明治過去帳:物故人名辞典**。— **新訂版** / 大植四郎著。— 東京美術, 1971 ※『大正過去帳』『物故人名辞典』『物故者事典』もある。

○**CD現代日本人名録:物故者編**。— 1901-2000。— 日外アソシエーツ, 2001

□地方別の人物情報

地方別の人物事典、百科事典、都道府県年鑑収録の人名録、各自治体が刊行する地方誌、各地域の図書館等が作成する人物情報サイト等も便利。NDL-OPAC検索→ 件名:「××県 — 伝記」など。

○**角川日本姓氏歴史人物大辞典** — 角川書店, 1989— 刊行中 ※各都道府県別に各地域の特徴的な姓氏を解説し、また、地域の著名人を紹介した辞典。群馬県、長野県、愛知県などがすでに刊行されている。

・**越佐人物誌** / 牧田利平. — 野島出版, 1972

・**大阪人物誌** / 石田誠太郎. — 臨川書店, 1974

◎**山形県関係文献目録検索** http://e-library.gprime.jp/lib_pref_yamagata/

□人物書誌

○**人物レファレンス事典** 古代・中世・近世編、明治・大正・昭和(戦前)編、昭和(戦後)編・平成編 新訂増補 日外アソシエーツ, 1996-2007年 8冊 ※約20万人を収録。探している人物が、どの百科事典、人名辞典に掲載されているかわかる。簡易な伝記の記載もあり。旧版に記載のあった記述量、肖像の有無に関する情報はなくなっている。2008年には「郷土人物編」が、2010年には「文芸篇」、「美術篇」が、2011年には「科学技術篇」が刊行された。

○**日本人物文献目録** / 法政大学文学部史学研究室編. — 平凡社, 1993 ※初刷は1974年。明治初年から1966年までに発行された図書と雑誌論文の中で、人物の伝記や人物に関する文献目録類を、被伝者の五十音順に集めて収録。

○**日本人名情報索引** 改訂増補 / 馬場萬夫, 国立国会図書館図書館協力部図書館研究所編. — 紀伊国屋書店 1990 (研修教材シリーズNo.7) ※当館の蔵書の中から、日本人の人物調査に有用な人名事典・人名録の他、特定の分野に関する人名録を掲載している図書をとりあげ、事項別、主題別、地域別に編成した人物書誌。各種の人物書誌や人名事典に収録されていない人物の手掛かりを探すのに便利。

○**「人名辞典」大事典** 上下 / 人名情報研究会編. — 日本図書センター, 2007.6 ※明治より平成18(2006)年6月末までに刊行された人名辞典、人名録などの文献の中から、単行本を中心に約20,000点(復刻・翻刻を含む)の書誌事項を収録。職員録、会員名簿、住所録、小説などは含まない。上巻はジャンル別編、下巻は地域編、外国編。

○**日本人物情報大系** 100巻 別巻4冊 芳賀登. — 皓星社, 1999-2002 ※日本人の列伝、叢伝を分野別に縮刷刊行したもの。現在、女性編、満州編、憲政編、企業家編、学芸編、書画編、朝鮮編、諸芸編、宗教編が刊行済み。女性編、満州編、憲政編、企業家編は索引あり。被伝者索引の一部が皓星社ホームページ(<http://www.libro-koseisha.co.jp/>)で検索できる。

○**近現代日本人物史料情報辞典** 伊藤隆、季武嘉也編 吉川弘文館, 2004-2011 4冊 ※近現代の日本の政治、外交、行政、軍事などの分野で重要な役割を果たした約1250人の書類・日記・書簡等の史料情報、自伝、伝記、主要な研究書等を紹介する。第4巻に索引あり。

○**人物文献索引** 人文編 経済・社会編 法律・政治編 国立国会図書館参考書誌部, 1967-1972 ※採録対象は邦文文献で図書を主体に雑誌・紀要類も含む。収録期間は「人文編」1945-1964年、「経済・社会編」1868-1968年、「法律・政治編」1868-1971年。それぞれ「日本人の部」「欧米人(外国人)の部」に分けて掲載。人名一覧、被伝者索引を付す。

○**人物文献目録** 森睦彦編 日外アソシエーツ ※1980年版が創刊。1986年までは『年刊人物文献目録』。1988～1994年は隔年刊。その後、1995-2001、2002-2004、2005-2007、2008-2010(9冊、2004-2011)が刊行済み。いずれも日本人と外国人を分けて収録。

○**人物書誌索引** 66/77、78/91、1992/2000、2001-2007 日外アソシエーツ, 1979-2009 4冊 ※『書誌年鑑』(1966～)に収録された特定人物に関する参考文献、著作目録、年譜、略歴など、人物書誌を日本人、東洋人、西洋人の3編に分け再構成した累積索引。各編ごとに五十音順に排列した「人名目次」、巻末には東洋・西洋人の「原綴索引」を付す。

○**国立国会図書館所蔵 近代日本政治関係人物文献目録** 1985-97 国立国会図書館 紀伊国屋書店発売, 2000 1冊 ※前版(1985年刊)は明治から昭和59年(1984)までに刊行された図書を収録。近現代日本政治関係人物文献目録(<http://mavi.ndl.go.jp/seiji/>)もある。

○**名家伝記資料集成** 森繁夫[他]. 思文閣出版, 1984.2 ※鎌倉末期から1946年春没までの国学者を中心に、漢学者、文人、芸術家、政治家、志士など約5万名を収録。人物ごとに関係記事を列記している。使用資料は明治以降の刊行物を中心に古今に亘る。氏名索引、別姓一覧、屋号一覧を付す。

□外国人＞一般的な人名辞典

○**岩波西洋人名辞典** 岩波書店編集部. — 増補版. — 岩波書店, 1981.12 ※来日外国人も多数採録。インドも西洋としている。本編、索引とも旧版と増補部分が別なので注意。

○**世界伝記大事典** 全19冊 ほんぷ出版, 1978-81 ※日本、中国、朝鮮、西洋の各編からなり、記述が豊富で文献の記載もあり。写真・肖像を多数収録。

○**20世紀西洋人名事典** / 日外アソシエーツ編集部. — 日外アソシエーツ, 1995.2 ※20世紀に、漢字圏以外で活躍した人物、及び活躍の場が欧米であった人物、約2万人を収録。スポーツ選手、映画俳優等も収録する。人名の見出しは姓の五十音順。巻末に原綴索引がある。

○**現代外国人名録**. 1992 1996 2000 2004 2008 日外アソシエーツ, 1992- 2008 ※現在活躍中の日本になじみ深い外国人(一部物故者を含む)を対象としている。2000年版以降は物故者は収録せず、前版とデータに異動のない人物も収録していない。2008年版の収録人数は13,268人となった。

○**各種、各国のWho's Who** ※Who's who: an annual biographical dictionary A. & C. Black 年刊

・Who was who 1897-1990 cumulated index A. & C. Black

・Who's who in the World Marquis Who's Who 年刊

・Who's Who in Canada. — Global Press 年刊

・International Who's Who of Women. — Europa Publications 他 年刊

□外国人＞各国人名事典

○Dictionary of National Biography 60v. Oxford University Press, 2004

○Deutsche biographische Enzyklopadie, DBE / — K.G. Saur, 1995-

□外国人＞死亡記事の索引

○The New York times obituaries index.. — New York times, 1970-1980. ※I. 1858-1968 — II. 1969-1978

○Obituaries from the Times, 1951-1960: — Newspaper Archive Developments, c1979. ※1961-1970, 1971-1975もあり。

□外国人＞人物書誌・人物情報

○**外国人物レファレンス事典** 全18冊 日外アソシエーツ編集部 1999-2010 ※国内の主要な人物事典、百科事典、歴史事典に記載されている外国人の総索引。日本語カナ表記の記載が詳しい。

○Biography and genealogy master index gale research 1980- 2nd ed. ※1981-1985 cumulation, 1986- 年刊。情報源は北米の刊行物が多い。

○Deutscher biographischer Index K.G. Saur, 2004. ※同じシリーズで各国のものが出版されている。本編はマイクロ資料が販売されているものと、オンラインデータベース(有料)があるが、冊子体のIndexだけでも生没年、職業程度はわかる。

○Index to Marquis Who's Who Publications. 年刊 — Marquis Who's Who ※Marquisが出版する各種Who's who (2005年版では15タイトル)を総合的に検索できる。Indexで判明するのは、掲載タイトルのみ。

□外国人＞作家

○**Contemporary authors.** — Gale Research Inc, 1962- ※様々な分野の執筆者の経歴、著作、文献等を記載。肖像写真の収録多数。New rev. ser. もあり。

◎**Gale's Literary index** <http://www.galenet.com/servlet/LitIndex> ※無料。名前、ペンネーム、別名、作品名、出身国、生没年などから検索でき、Gale社が出版するContemporary Authorsや各種事典の掲載箇所、作家論、作品論の情報が得られる。

◎**Contemporary Writers in the UK.** — British Council <http://literature.britishcouncil.org/writers> ※無料。インターネットで利用できる英国および英連邦の現代作家の集合書誌類

□肖像

○**写真レファレンス事典. 人物・肖像篇** / 東京都写真美術館[他]. — 日外アソシエーツ, 2006.3 ※肖像索引として使える。

○**歴史人物肖像索引** / 日外アソシエーツ株式会社. — 日外アソシエーツ, 2010.2 ※美術全集、地方百科などに収録の人物肖像を引ける。

・**戦国武将の肖像画** / 二木謙一, 須藤茂樹. — 新人物往来社, 2011.1. — (ビジュアル選書) ※前近代の人物であつても肖像画のニーズは根強い。概して新刊のほうが画像がよい。

□著者の生没年について

NDL-OPAC、近代デジタルライブラリー(<http://kindai.ndl.go.jp/index.html>)の著者名典拠から判明する場合もある。また、各国・各図書館のOPACで典拠が異なり、情報が得られる場合があるのでWebcat、KVK(Karlsruher Virtueller Katalog)http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/kvk_en.html等も利用するとよい。

□オンラインDB

人物情報を検索するのに有用なデータベースとして、以下のものもある(有料)。

◎**日外Web WHOPLUS** <http://www.nichigai.co.jp/database/index.html>

◎**日経テレコン21** <http://t21.nikkei.co.jp/>

■II-1-2 人物調査 - 近世以前

□総合的な系図関係資料

○**尊卑分脈** 黒板勝美、国史大系編修会編輯 新装版 吉川弘文館, 2001 5冊 ※『新訂増補国史大系』第58-60巻、別巻2(索引)に収録。室町時代を下限とする私撰の一大系図集で、系図研究の根本史料。藤原氏、源氏、橘氏、平氏等の大系図集。諸氏の個々人について官位、略伝等を記載。「尊」は帝王系図、「卑」は諸氏系図を指し、前者は『本朝皇胤紹運録』『群書類従』5輯、『群書系図部集』第1巻収録、神代から昭和天皇までの皇室系図として別に編纂されている。『群書系図部集』第2巻に収録されている「尊卑分脈脱漏」も併用したほうがよい。

○**系図纂要** 新版 監修:岩沢愿彦・宝月圭吾 名著出版, 1996-1999 33冊 ※江戸末期に編纂された皇室・公家・武家・諸家の系図の集大成。収録年代は神代から安政4年まで。約60姓777家を収録。『尊卑分脈』『諸家系図纂』他、系図関係文献を広く渉猟し、家系ごとに類別編纂している。武家では『寛政重修諸家譜』以降を、公家では『尊卑分脈』『諸家伝』以降を補完することができ、当主の系図の他に子女をもあげている。

○**姓氏家系大辞典** 太田亮著 角川書店 1963 3冊 ※明治以前の日本の姓氏、苗字を古文書から網羅的に採録し、由来、起源、分布、本支の関係などを解説する。家紋は図も収める。出典が明らかでない箇所もあり、資料として使うのに注意を要するが、姓氏家系調査の基本資料である。排列は姓名の50音順。

○**角川日本姓氏歴史人物大辞典** 角川書店 1989- 刊行中。II-1-1 人物調査 - 主として近代以降「地方別の人物情報」p10 参照。 ※編集者が、巻によって異なり、構成や出来が不統一、個性的な場合があるが、レベルの高い

辞典である。

○**諸家系図纂** / 徳川光圀[他]. — 写 ※徳川光圀が『大日本史』を編纂する際に蒐集、丸山可澄に命じて編纂したもの。『尊卑分脈』にも掲載のない、多数の系図を収録する。刊本はなし。『群書系図部集』『系図綜覧』にその大部分を収載する。『マイクロフィルム版「諸家系図史料集」』(雄松堂出版, 1995)があり、解題目録巻末に索引がある。

○**群書系図部集** / 塙保己一編纂, 太田藤四郎補. — 続群書類従完成会, 1985 7冊 ※『群書類従』5輯系譜部と『続群書類従』5輯上ー7輯下系図部に収録されている天皇、公家、武家他の諸氏系図(約400点)。中世以降に興じた地方豪族の系図など、『尊卑分脈』に収録されていない系図も多数収録。

○**系図綜覧**. — 国書刊行会. — ピタカ, 1977.12 ※『諸家系図纂』のうち、『群書系図部集』に収録していない諸家系図、及び東京大学史料編纂所所蔵、各種系図、稀覯本から収録した「武蔵七党系図」等を収録する。

○**日本系譜総覧** / 日置昌一. — 名著刊行会, 1973 ※昭和11年の復刻。皇室、皇族、諸家系譜のみならず、諸芸・諸流派の系図として仏教、神道、香道、歌道、連歌、書道、儒学、能楽、蘭学、武芸、絵画、工芸、俳優、相撲他、多数を収録している。

○**日本史諸家系図人名辞典** / 小和田哲男[他]. — 講談社, 2003.11 ※古代から明治維新までの歴史上重要な豪族・公家・武家の姓氏家名401件と、天皇家・6親王家を収録し、各家の概要、系図、家紋を掲載する。系図中の人名のうち文献上に業績の残る人物約8,800名の解説を記す。各家の項目末尾には、菩提所や関連史跡、史書、文化財、『尊卑分脈』など主要系図での掲載箇所、巻数・頁数、その他の参考文献名も紹介する。

□華族

○**華族譜要** / 維新史料編纂会. — 新生社, 1976 ※昭和3年7月1日現在の華族の当主、略系図(2-3代前まで)、家格、門流、世職、石高などを記した『現代華族譜要』の増訂覆刻版。

○**平成新修旧華族家系大成**. — 霞会館, 1996 2冊 ※皇室・皇族および旧華族の系譜。各家ごとに、当主、家紋、略系図、解説を掲載。1798年から1994年までの家系図を収録。現当主の連絡先や現職業も記載されている。

○**旧華族家史料所在調査報告書** ; 本編1-4, 附編. — 学習院大学史料館, 1993 5冊 ※旧華族の約1,011家について、家名の五十音順に排列して、各家の史料の所在を記述する。『近現代日本人物史料情報辞典』も参考になる。

□公家

○**宮廷公家系図集覧** / 近藤敏喬. — 東京堂出版, 1994.9 ※『尊卑分脈』『群書系図部集』『系図纂要』『公卿補任』『昭和新修華族家系大成』『古代氏族系譜集成』等、基本資料の他、各種事典類も参照し、下限は現代に至る。

○**古代豪族系図集覧** / 近藤敏喬. — 東京堂出版, 1993.9 ※『尊卑分脈』『姓氏家系大辞典』『古代氏族系譜集成』等を参照。古代中央豪族、地方豪族、主要社家を中心に記載。地方豪族、社家の記載は、現代に及ぶものもある。

○**古代氏族系譜集成** / 宝賀寿男. — 古代氏族研究会, 1986.4 ※『姓氏家系大辞典』で、参照されていない古代豪族の諸系譜『百家系図』『諸家系図』『諸系譜』(鈴木真年など編)を参照している。

○**近世公家名鑑編年集成 第1巻** / 深井雅海, 藤實久美子. — 終風舎, 2009.10 ※公家の「武鑑」にあたるもの。

□堂上公家

○**公卿補任** 第1-5篇. 索引 新装版 吉川弘文館, 2000-2001. (國史大系 ; 第53-57巻 別巻1) ※系図ではないが、朝廷に仕える公卿(公=太政大臣 左右大臣、卿=大納言 中納言 参議 3位以上)の氏名、官歴を編年順で記載するので、人物調査の参考になる。収録期間は明治元年まで。

○**諸家伝** 1-3/ 正宗敦夫. — 現代思潮社, 1978.9. — (覆刻日本古典全集) ※堂上諸家189家代々の嫡系の歴代譜。家格順に収め、『公卿補任』を家別、人別にしたもの。当主の経歴の他、当主以外の早世した人物、低い官位で終わった人物も含む詳細な一覧。収録範囲は、古代から明和年間(1764-1772)までで、『地下家伝』と対をなす。索

引あり。これ以降の年代は、『公卿諸家系図』『系図纂要』等、参照。

○**公卿諸家系図** 土橋定代 続群書類従完成会, 1988 ※『諸家知譜拙記(しょか・ち・ふ・せつき)』※昭和41年刊の改題増補。古代より天保年間(1830-)に至る堂上公家の直系のみの略系図集。絶家伝を付す。『諸家伝』より収録期間は長く、系図を見るには便利であるが、略歴等の記載は簡便で、当主以外の兄弟姉妹は見られない。それらは『諸家伝』『系図纂要』等、参照。

□下級公家

○**国司補任** 第1-5 索引 宮崎康充。― 続群書類従完成会, 1989-1999 ※701年(大宝元年)から1159年(平治元年)の国・島・大宰府・鎮守府の四等官と史生。

○**弁官補任** 第1-3 飯倉晴武。― 続群書類従完成会, 1982-1983 ※太政官事務局の左右弁官(四位、五位)の官・位階・氏名・任日・兼官・叙任を記した補任次第書。大宝元年(701)-明治2年(1868)を収録。3巻末に弁官補任系図と人名索引を付す。

○**歴名土代** / 湯川敏治。― 続群書類従完成会, 1996.9 ※貞治6年(1367)-慶長11年(1606)の四位、五位の官吏の氏名、官位昇進を記す。公卿補任(原則三位以上)の地下家版に類。記載は叙位任官のみ。続柄の情報は少ない。人名索引あり。

○**蔵人補任** 市川久 続群書類従完成会, 1989.6 ※蔵人頭及び、蔵人(五、六位)の補任次第書。810年(弘仁元年)-1198年(建久9年)を収録。蔵人所別当補任、蔵人補任系図、人名索引を付す。

○**外記補任** / 井上幸治。― 続群書類従完成会, 2004.11 ※太政官少納言局(外記局)の職員である大外記・小外記(七位)の補任表。701年(大宝元)-1500年(明応9年)までを収録。出典を明記する。「外記系図」、「人名索引」あり。

○**地下家伝** / 三上景文[他]。― 自治日報社, 1968 ※日本古典全集本(昭和13年刊)の複製。収録期間は古代から嘉永5年(1852)。地下諸家(一般に六位以下)の家譜。地下諸家の家系・職掌・各人の略伝を知るのに有用。『諸家伝』の地下家版といわれる。ただし奈良・平安まで遡れるものは少なく、多くは室町から江戸中期以降である。

○**平安時代補任及び女人綜覧** 本多伊平 笠間書院, 1992 (笠間索引叢刊 ; 101) ※公卿補任、弁官補任、蔵人補任、女人年表が編年順に掲載され、別に『同 人物索引』(1996)が刊行済み。収録期間は天応元年(781)-寿永2年(1183)。

□武家>徳川家

○**徳川諸家系譜** 第1-4 斎木一馬, 岩沢愿彦 続群書類従完成会, 1970-1984

□武家>大名・旗本・御家人

○**寛永諸家系図伝** 第1-15 索引1-2 斎木一馬 太田資宗[他] 続群書類従完成会, 1980-1997 ※1643年成立。大名・旗本諸家1,400余家を収録。清和源氏、平氏、藤原氏、諸氏の4部からなり、諸家の後に医者・同朋・茶道の項目がある。各家の系譜の他、家紋名の図様はない。

○**寛政重修諸家譜** 新訂 続群書類従完成会, 1964-1967 26冊 ※寛政11年(1799)-文化9年(1812)にかけて江戸幕府が編修した近世最大の系譜。諸大名、及び旗本の詳細な系譜。『徳川実紀』と共に幕政研究の重要資料。徳川本支流、各藩の藩士譜は収載しない。家紋の図様を確認できる『新訂寛政重修諸家譜家紋』(千鹿野茂。― 続群書類従完成会, 1992)もある。本書以降、大名は『系図纂要』や『武鑑』、旗本・御家人は『江戸幕府旗本人名事典』『寛政譜以降旗本家百科事典』『江戸幕臣人名事典』等が参考になる。

○**新編藩翰譜** 第1-5巻 / 新井白石。― 新人物往来社, 1977 ※大名家の記録。慶長5年(1600)-天明6年(1786)大名家337家の沿革、各大名個人の事績等を綿密に記載。系譜を付す。親藩、譜代、外様の他、絶家も含む。

○**断家譜** 第1-3 [田畑吉正[他]。― 続群書類従完成会, 1968, 1995 ※慶長年間から文化年間まで、約200年間に大名・旗本・官医で絶家となったもの880余家の家譜。索引有り。

○**恩栄録・廃絶録** / 小田彰信[他]. — 近藤出版社, 1970. — (日本資料選書 ; 6) ※大名の新地、加封を記録する『恩栄録』、減封、除封を記録する『廃絶録』を収録する。慶長5年以降(恩栄録は文化12年まで、廃絶録は慶應元年まで)の大名の石高、封国、任免事項を調査するのに有効。廃絶録には廃絶の原因も記す。「人名、城名、城地名」の索引がある。

○**柳営補任**. 1-6 索引上下 根岸衛奮 覆刻 東京大学出版会, 1997.9. — (大日本近世史料) ※江戸時代の幕府諸役人の任免、転補を記したもの。諸役人は大老・老中から小姓組組頭等、下級官吏を含む。ただし『史籍解題辞典』では、寛永以前の記述は特に慎重に扱うべきとしている。

○**御家人分限帳** / 鈴木寿. — 近藤出版社, 1984.7. — (日本史料選書 ; 23) ※本書の御家人とは、譜代大名(一部)と旗本・御家人を包摂した徳川幕府譜代の役人の総称。江戸中期(正徳期)のほぼ全職員22,891名を役職別に網羅収載し、知行関係の記事等を付す。役職名索引、人名索引を付す。

○**江戸幕府勘定所史料** / 村上直, 馬場憲一. — 吉川弘文館, 1986.2 ※江戸後期の歴代勘定奉行の構成、人名等を記す。

○**江戸幕府代官史料 : 県令集覧** 村上直, 荒川秀俊. — 吉川弘文館, 1975 ※天領(幕府直轄地)の代官・郡代・諸役人の名簿である『県令集覧』の翻刻。天保10(1839)–慶應2(1866)までを収録。巻末に郡代・代官所一覧、構成表、配置図、人名索引を付す。

○**江戸幕府代官履歴辞典** 西沢淳男. — 岩田書院, 2001.10 ※江戸期の代官の一覧。代官の人名(よみを付し)を見出し語として五十音順に排列し、郡代・代官名、別称、前職・前歴、後職・後歴、最終役職、発令年等を掲載。巻頭に出典一覧あり。

○**内閣文庫蔵諸侯年表** 新田完三 東京堂出版, 1984.6 ※『寛政重修諸家譜』をもとに、その後は大名家に材料を徴して補い、寛政以降、明治4年(1871)までの大名家ごとの家譜を記し、領地、石高などをたどったもの。「徳川諸侯索引」を付す。

○**三百藩藩主人名事典** 全4巻 藩主人名事典編纂委員会 新人物往来社, 1986–87 ※慶長5年(1600年)から明治4年(1871年)の全国557藩、移封・廃絶を含む全藩主4,292名を収録。各個人について詳細な記述と参考文献を付す。

○**江戸幕府旗本人名事典** 全5巻 索引 小川恭一 原書房, 1989–1990 ※内容は寛政以降–慶応年間の万石以下、お目見え以上の全旗本5,000余家を一覧形式にしている。系譜ではないが、約60年の推移がわかる。※旗本については『江戸の旗本事典』(小川恭一. — 講談社, 2003.9. – (講談社文庫))にも詳しい。

○**江戸幕臣人名事典** 熊井保 改訂新版 新人物往来社, 1997.11 ※幕臣の履歴書「明細短冊」及び由緒書(国立公文書館蔵)を翻刻したもの。内容は、文久年間(1861)から慶應3(1867)で、特色は御家人(万石以下、お目見え以下)を多数含む点である。

○**寛政譜以降旗本家百科事典**. 第1–6巻 小川恭一 東洋書林, 1997–1998 ※寛政11年–慶応4年までの旗本(万石以下、お目見え以上)の家系を収載。『江戸幕府旗本人名事典』、『諸向地面取調帳』、『柳営補任』等の史料から、各人名に関する記事を列記している。

□武家>武鑑

民間書肆により刊行された幕府の職員録ともいえる『武鑑』は、大名・旗本の人物調査の情報源になる。大名武鑑と旗本武鑑に大別され、大名武鑑にのみ系図の収録がある。家紋はその図様がわかる。以下に、武鑑を収録する主な文献を挙げる。

○**大武鑑** / 橋本博. — 改訂増補. — 名著刊行会, 1965 ※天正18(1590)–明治2(1870)の主要年次の他、「鎌倉武鑑」等、江戸期刊行の前代の武鑑も収録している。本編は翻刻され、総索引を付す。

○**徳川幕府大名旗本役職武鑑**. 第1–4 / 渡辺一郎. — 柏書房, 1967 ※寛保(1741)–明治2年(1870)。収録期間が短い、逐年である点で『大武鑑』に勝る。原本の覆刻で、索引はなし。

○**江戸幕府大名武鑑編年集成**. 第1–18巻 深井雅海, 藤實久美子. — 東洋書林, 1999–2000 ※寛永20(1643)か

ら慶應4(1868)までの殆どの年次を、各種武鑑により収録。影印覆刻で、索引なし。

○江戸幕府役職武鑑編年集成 第1-36巻 / 深井雅海, 藤実久美子. — 東洋書林, 1996-1999 ※正保元年(1644)から明治元年(1868)までの殆どの年次を、各種武鑑により収録。影印覆刻で、索引なし。

○文化武鑑 1-7 柏書房, 1981-1982 (編年江戸武鑑) ※文化年間を収録。この期間に関しては『大武鑑』より収録年次が多く、活字本。索引に『江戸幕府諸藩人名総鑑(文化武鑑索引)上下』(上下 柏書房, 1983-5)がある。

○文政武鑑 1-5 柏書房, 1982-1992. (編年江戸武鑑) ※文政年間を収録。活字本で、検索の便として役職名検索目次、人名検索目次、大名家名目次等を付す。

□武家＞藩士

各藩の藩士に関する情報は、『藩史大事典』『系図文献資料総覧』等に掲載の各地域の郷土史料、各藩の分限帳、侍長、給人帳等を調査することも有効。それらは各県史、市史等、各種刊行資料に収録するものも多数ある。

○三百藩家臣人名事典 第1-7巻 / 家臣人名事典編纂委員会. — 新人物往来社, 1987-1989 ※慶長5年(1600)年から明治4年(1871年)の全ての藩において、家臣として史料的に確かな事績を残した人物6,100余人を収録。国別の下に藩別に排列。巻末に人名索引あり。

・藩史大事典 p18 II-1-3日本史「時代史・地方史」を参照

・肥後細川家侍帳 1-4 細川藩政史研究会, 1977-1779

・生駒藩給人帳 上坂氏顕彰会・史料出版部, 1997

・清末藩分限帳 下関文書館, 1970.12. (史料叢書 ; 第1集) 他多数。

□その他の時代別各種人名事典

○日本古代人名辞典 第1-7巻/ 竹内理三, 山田英雄, 平野邦雄. — 吉川弘文館, 1958-1977

○日本古代氏族人名辞典. — 吉川弘文館, 1990.11 ※普及版(2010)あり

○日本古代氏族事典 / 佐伯有清. — 雄山閣出版, 1994.11

○鎌倉・室町人名事典 / 安田元久. — 新人物往来社, 1985.11 ※コンパクト版(1990)あり

○戦国人名辞典 / 戦国人名辞典編集委員会. — 吉川弘文館, 2006.1

○戦国人名事典 / 阿部猛, 西村圭子. — 新人物往来社, 1987.3 ※コンパクト版(1990)あり

○戦国大名閥閥事典 第1-3巻 / 小和田哲男. — 新人物往来社, 1996-1997

○戦国大名家臣団事典 西国編 東国編 / 山本大, 小和田哲男. — 新人物往来社, 1981.8

○近世人名辞典 1-3 漆山又四郎 青裳堂書店, 1984-87 (日本書誌学大系 ; 36-1~3)

○幕末維新全殉難者名鑑 1-4 明田鉄男. — 新人物往来社, 1986

○明治維新人名辞典 / 日本歴史学会. — 吉川弘文館, 1981.9

○幕末維新人名事典 / 宮崎十三八, 安岡昭男. — 新人物往来社, 1994.2

○幕末明治海外渡航者総覧 第1-3巻 / 手塚晃, 国立教育会館 柏書房, 1992.3 ※CD-ROM版で、幕末明治期海外渡航者人物情報事典〔電子資料〕手塚晃, 石島利男 金沢工業大学, 2003)もあり。

□分野別人名事典

○国書人名辞典 第1-5巻 / 市古貞次. — 岩波書店, 1993-1999 ※『国書総目録』の「著者名索引」に取り上げた伝記の判明した人物、約3万人を収録。生没年、名号、家系、経歴、著作、参考文献について記述。

○近世漢学者伝記著作大事典 関儀一郎他編 井上書店 1981年(第4版) 1冊 ※伝記記述には典拠も記す。巻末に漢学者系統図等を付す。

○漢文学者総覧 長澤規矩也監修 汲古書院, 1979 1冊 ※この総覧では修姓(中国人名風に改めた姓)から本姓を確定できる。

○**和学者総覧** 國學院大學日本文化研究所編 汲古書院, 1990 1冊 ※慶長年間から大正期頃まで活躍した、歌学、歴史、有職などの学問に携わった者と、漢学、狂歌師、俳諧師などで和学のうで業績を残した者など11,600余名を収録。天皇・親王などの皇族は含まれない。姓名、別称、生国、没年、享年、学統、参考文献を記載。巻末に、「姓名欄頭字検索一覧」と五十音順排列の「名称索引」を付す。

○**日本洋学人名事典** 武内博編著 柏書房, 1994 1冊 ※蘭学者を中心として明治初期までに活躍した人物を収録。事典本文のあとに、全国墓碑所在一覧、主要洋学者墓碑銘、主要洋学者門人帳、洋学関係資料所蔵一覧、参考文献、活動分野別索引、出身地別索引などを掲載する。

○**号・別名辞典** 新訂増補 日外アソシエーツ, 2003 2冊 ※日本人の号や別名を集めた辞典。古代～近世編では約8,600人について約20,000の別名と号を収録。近代・現代編では約7,700人について約14,500の別名と号を収録。巻頭に、「音読みガイド」「総画順ガイド」があり、巻末には「姓名から引く号・別名一覧」がある。収録されているのは比較的有名な人物。

□参考文献

○**系図文献資料総覧** 増補改訂 丸山浩一編 緑蔭書房, 1992 1冊 ※系図研究の基本史料、参考文献、関連文献、系図文献目録などを掲載する。

○**系図研究の基礎知識** 第1-4巻 / 近藤安太郎. — 近藤出版社, 1989-1990

■II-1-3 日本史

□一般

○**国史大辞典** 第1-15巻 吉川弘文館, 1979-97 17冊 ※第15巻上・中・下(3冊)の史料・地名・人名・事項の詳細な索引は関連項目を探すのに有用。各巻巻末に、図版目録があり、肖像や文書、典籍、絵図、古地図などの所蔵機関を確認することができる。

○**日本史大事典** 平凡社, 1992-94 7冊 ※『国史大辞典』に比べると解説も平易で、読みにくい漢字にはルビがある。参考文献には『国史大辞典』にはない刊行年の記載がある。

○**日本歴史大事典** 小学館, 2000-2001 4冊 ※オールカラー。アイヌや琉球、女性史、民衆史、近現代史など日本史研究の最新の研究成果を生かして編集。第4巻は資料篇と索引からなり、資料篇に「近世国別人口表」「藩政史料一覧」「国別主要地誌一覧」などを掲載する。

○**岩波日本史辞典** 永原慶二・石上英一ほか編 岩波書店, 1999 1冊 ※約19,000項目を収録。巻末に準項目索引(13,000項目)のほか、附録として「日本史備要」があり、「中世特殊用語集」「古代史研究の手引」「中世史研究の手引」など180タイトルを掲載する。CD-ROM版もあり。

○**日本史小百科** 近藤出版社, 1977-1991(29冊), 東京堂出版, 1993-2002(既刊26冊) ※神社、家系、天皇、荘園、暦、庭園、城郭など、日本史に関する各事項をそれぞれ1冊にまとめ、小百科事典として歴史を追って解説、文献を挙げる。ひとつの事項について総合的に調べるのに便利。

○**日本史総覧** 児玉幸多、他監修 新人物往来社, 1983-86 9冊 ※戦前期に編集された『読史備要』(東京帝国大学史料編纂所編 内外書籍 1933年 1冊)より詳細なデータ集で、古代の国司一覧、江戸幕府諸職表といった古代から近現代にいたる各種の諸表、系図などの一覧を収録。この本の幕末維新編にあたる『幕末維新史事典』(新人物往来社 1983年)もある。

○**日本の歴史** 1-13. — 新訂増補. — 朝日新聞社, 2005.1. — (朝日百科)

□年表

○**年表日本歴史** 第1-6巻 井上光貞、他編 筑摩書房, 1980-93 6冊 ※現在、1988年までをカバーしている。記述項目には典拠とした文献名あり。各巻巻末に事項、人名で引ける総索引を付す。

○**日本史総合年表** 第2版 加藤友康、他編 吉川弘文館, 2005 1冊 ※初版は2001年刊行。『国史大辞典』の姉妹編。2004年までの政治、経済、社会、文化全般にわたる項目を収録。1867年までの国内の事項は典拠明記があり、また887年以降には『大日本史料』の編次冊次を記す。巻末に典拠一覧及び索引、備要として天皇、皇后の一覧などを付す。本書をもとに、近年、総ルビ付きの『日本古代史年表 誰でも読めるふりがな付き』等全5冊が刊行された。

○**日本史年表** 第4版 歴史学研究会編 岩波書店, 2001 1冊 ※最もよく知られ、使われている日本史年表。2000年までを収録。巻末に索引を付す。

○**新・国史大年表** 第1巻(-10) / 日置英剛. 一 国書刊行会, 2007.2 ほか ※全10冊を予定。既刊7冊。個人の編著であるが、記述が詳細で索引も充実している。

○**日本文化総合年表** 市古貞次、他編 岩波書店, 1990 1冊 ※1988年までを収録。文化史上重要と思われる事象を対象にした年表。巻末に索引、難音訓一覧(画数引き)などを付す。『日本史分類年表』(東京書籍, 1984 1冊)等もある。

○**対外関係史総合年表** 吉川弘文館, 1999 1冊 ※日本を中心として紀元前より1879年(明治12)の琉球処分までの経済、政治、社会、文化など全般的な対外関係事項(約36,000項目)を収録。各項目には典拠とした資料の記載があり、巻末に詳細な典拠一覧を付す。

○**東方年表** 藤島達朗、野上俊静 平楽寺書店, 1996

紀元前660年から1997年までの、西暦、干支と中国、朝鮮、日本の帝王、年号などを対照して載せる。巻末に「帝王歴代一覧」「年号索引」「干支表」を付す。

○**近代日本総合年表** 第4版 岩波書店, 2001 1冊 ※ペリー来航の年(1853年)から2000年12月までの事象を収録。巻末に典拠文献と索引を付す。『日本文化総合年表』とを合わせたCD-ROM版『岩波電子日本総合年表』(1993)もある。

□時代史・地方史

○**日本考古学事典** 田中琢、他編 三省堂, 2002 1冊 ※1,600項目を収録。最新の成果、研究史、東アジアおよび世界の考古学との比較などを重視し、読む事典を目指して編集されている。

○**平安時代史事典**(上下 資料・索引編)古代学協会、古代学研究所編 角川書店, 1994 3冊 ※収録項目は約21,000項目。平安時代のあらゆる領域から項目を選定する。見出しは史料用語、概念用語を用い五十音順に排列。各項目ごとに史料、刊本、研究文献などを詳細に記す。

○**日本荘園史大辞典** / 瀬野精一郎. 一 吉川弘文館, 2003.3 ※『国史大辞典』収録の荘園関係事項1,953項目に補訂を加え、さらに653項目を追加。付録として『日本荘園資料』(1998年刊)のデータを整理、補訂して作成した「荘園一覧」、「領家別荘園一覧」を掲載し、巻末には、事項索引、人名・寺社名索引、地名索引を付す。

・**日本荘園資料** 国立歴史民俗博物館 吉川弘文館, 1998

◎**国立歴史民俗博物館調査の荘園関係データ** <http://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html>

○**鎌倉武家事典** / 出雲隆. 一 新装版. 一 青蛙房, 2005.1 ※初版は1972年刊。1180年(治承4)から1333年(元弘3、正慶2)までの出来事や逸話などを編年的に記し、重要事項に解説を施す。各種系図他、巻末に「用語事項索引」「人名索引」を付す。

○**クロニク戦国全史** / 池上裕子. 一 講談社, 1995.12 ※1454年享徳の乱から1615年大阪夏の陣まで編年的に記述。年表、記事、関連資料、欄外の用語解説等で構成。約1,300点の図版、写真を掲載。付録として「戦国の58人」「郷土の戦国時代」「戦国データ・ボックス」がある。巻末に事項・人名別索引、県別項目索引を付す。『戦国史事典』(戦国史事典編集委員会 秋田書店 1980)がある。

○**ビジュアル・ワイド江戸時代館**. 一 小学館, 2002.12 ※「江戸と諸国」「衣食住の実態」など6章からなる。随所にカラー図版やコラムを掲載。巻頭口絵「パノラマ大図解」では、江戸城や讃岐高松藩城下町などの鳥瞰を図解。「特別資料館」には、「都道府県別の郷土の江戸時代史」「江戸時代人物事典」「江戸時代博物館案内」を収録。巻末に五

十音順排列の索引を付す。『同 明治時代館』(小学館, 2005)もある。

○**藩史大事典** 第1-8巻 / 木村礎。— 雄山閣出版, 1988-1990 ※1598(慶長3年)から1871年(明治4年)に存在した全ての藩を解説した事典。藩史研究に必要な項目を網羅し、集大成したもの。藩の概観、藩主の系図、家老と業績、藩の職制他、収載項目は多義に亘り、基本文献、基本史料を多数記載する。第8巻は史料・文献総覧・索引。

○**定本武江年表** 上、中、下 斎藤月岑著 今井金吾校訂 筑摩書房, 2003-2004 ちくま学芸文庫

1590年(天正18)から1873年(明治6)を収録。各文献に頻繁に引用される江戸時代の詳細な年表。

○**考証戦国武家事典** 稲垣史生著 新人物往来社, 1992 1冊 ※戦国時代の歴史を読み解くための「生きている基礎資料」たることを目指して執筆されたもの。足利幕府より徳川幕府成立の直前までを取り上げ、幕府、諸大名の職制、武士の生活、武装と武具、武芸と練兵、合戦の実際などについて解説する。巻末に索引を付す。『時代考証事典 正統』(稲垣史生 新人物往来社, 1971, 1985)もある。

○**日本近現代史辞典** 東洋経済新報社, 1978 1冊 ※幕末から1975年までの事項、約3,850項目を収録。付録として、「府藩県対照表」「華族一覧」など各種の一覧や図表、55編を掲載する。巻末の索引は約12,000項目を収載。

□ 解題書誌

○**国史大系書目解題** 吉川弘文館 1971、2001 2冊(上、下)

「日本書紀」「古事記」「今昔物語集」「延喜式」「吾妻鏡」「徳川実記」「公卿補任」「尊卑分脈」など『新訂増補国史大系』に収録された資料の詳細な解題を収録する。

○**日本史文献解題辞典** 加藤友康、由比正臣編 吉川弘文館, 2000 1冊 ※前掲

4,700項目を収録。『国史大辞典』の中から、古文書、古記録、典籍、金石文、新聞、雑誌など日本史研究の上で重要と思われる史料を項目として取り上げて加筆、改稿し、さらに新しい項目も追加している。典籍索引、人名索引、事項索引を付す。

○**史籍解題辞典** 新装版 上巻(古代・中世編)、下巻(近世編) 竹内理三、滝沢武雄編 東京堂出版, 1995-1999 2冊 ※前掲

基本的な史籍はもれなく収録。県史、市史の資料編など地方関係の史料も多く掲載する。

□ 書誌

○**古代日本研究文献総合目録** 1868-1998 平田耿二編 勉誠出版, 1998 2冊 ※弥生文化の成立から平氏政権の崩壊までを範囲とし、古代日本に関係する文献、及び民俗、工芸、音楽、思想、国文学などの周辺分野も採録。掲載項目は、論文名、書名、雑誌名、出版社名、巻・号・頁数、発行年月、文献情報等。

○**近世・近代史料目録総覧** / 国文学研究資料館史料館。— 三省堂, 1992.5

○**近世日本対外関係文献目録** 中田易直他編 刀水書房, 1999 1冊 ※1868年(明治元)から1993年までに日本語で刊行された図書、雑誌論文約30,000点を収録。付編として、著者名別の外国語文献(欧文・中国語を含む)約3,000点も掲載する。

○**対外交渉史文献目録 近世篇** / 京都外国語大学付属図書館。— 雄松堂書店, 1977.9

○**日本史関係雑誌文献総覧** / 国書刊行会。— 国書刊行会, 1984.4

○**地域研究・郷土資料図書目録** 図書館流通センター編・刊, 1997 3冊 ※1868～1997年4月までに刊行された図書、約50,000件を収録。地方史だけでなく、自然誌、文化誌にも及ぶ。自治体索引、書名索引、著者索引がある。2006年、1995年から2006年3月迄を対象とした追録版が出版された。※地方史文献総合目録 上下 索引巻(巖南堂書店, 1970-1975)もある。

○**全国地方史誌総目録** 2冊 / 日外アソシエーツ編集部。— 日外アソシエーツ, 2007

○**地方史文献年鑑：郷土史研究雑誌目次総覧** 1997- 飯澤文夫編 岩田書院 年刊 ※『月刊歴史手帖』(1997年休刊)に連載されていた「地方史雑誌文献目録」を引き継ぐもので、当該年に刊行された在地の地方史研究

雑誌などの雑誌記事情報を収録。地方誌(都道府県別)と全国誌に大別し、国立国会図書館や都道府県立図書館などを略号で示す。巻末に雑誌名索引がある。『史学雑誌』『日本歴史』『日本史研究』『歴史学研究』等の著名雑誌は掲載されていない。

○**歴史学紀要論文総覧** / 日外アソシエーツ株式会社。— 日外アソシエーツ, 2007.9

○**日本歴史学界の回顧と展望** / 史学会。— 山川出版社, 1987.4 ※『史学雑誌』の5月号に毎年掲載される、前年発表された主要な論文と研究動向を時代別にまとめたもの。1985年まで。外国も含め25冊。外国は地域別。

□古文書・古記録関係

○**日本古文書学講座** 1-11。— 雄山閣出版, 1978-81 ※古文書の個別の様式等、深く調べたいときの参考文献として良い手がかりになる。

○**くずし字用例辞典** / 児玉幸多。— 東京堂出版, 1993.6 ※漢字編(部首別に排列、各部首の中は画数順排列)とかな編からなる。部首索引と音訓索引がある。最も用例が多く、古文書の学習者、研究者にとって必須の辞典といえる。『くずし字解説辞典』と合わせたCD-ROM版『くずし字解説用例辞典』(2007)もある。

○**音訓引古文書大字叢** / 林英夫。— 柏書房, 1999.9 ※近世の古文書に頻出する用語約14,000語を五十音順に排列する。くずし字例と語義を掲載。30,000語に及ぶくずし字の用例を原文書から採字。異体字などのくずし字例も積極的に収録。巻末にある索引(音訓引き)は、用例の読み方が分からなくても語句の一字の基本的な読み方から引けるように、単一文字ごとに見出しを立ててあり、極めて便利な索引となっている。

○**江戸時代用語考証事典** / 池田正一郎。— 新人物往来社, 1984.7

○**古文書用字用語大事典** / 池田正一郎。— 新人物往来社, 1995.6 ※近世の古文書用語の語義を解説。

○**古文書古記録語辞典** / 阿部猛。— 東京堂出版, 2005.9 ※古代・中世の古文書古記録の語義を解説する。

○**日本歴史「古文書」総覧** 新人物往来社, 1992 1冊 ※概説篇(武家文書、寺院文書、地方文書などについて)、入門篇(紙、字体、花押、調査方法、保存などについて)、事典篇(家わけ文書104件)の3篇からなる。

○**古記録** / 飯倉晴武。— 東京堂出版, 1998.9。— (日本史小百科) ※日本史上の古記録の定義や、平安時代から戦国時代までの代表的な古記録などを個別に解説。特に個別古記録については、記主、記名、伝来と現状、内容と特徴、刊本の5項目を平易に記載。※『日記解題辞典 古代・中世・近世』(馬場萬夫。— 東京堂出版, 2005)もある。

○**日本歴史「古記録」総覧** 新人物往来社, 1989-1990 2冊(古代・中世篇、近世篇)

他に『江戸時代「古地図」総覧』(新人物往来社 1997)もある。

□史料保存機関

○**史料館収蔵史料総覧** 国文学研究資料館史料館。— 名著出版, 1996.3 ※同館収蔵の近世・近代史料529件を文書群ごとに解説したもの。第1部が所蔵・寄託史料、第2部がマイクロ収集史料。記載は各文書の出所・歴史・伝来他、検索手段・翻刻・関連史料など。「出所の現地名索引」「同名称索引」「同旧地名索引」を付す。

○**歴史資料保存機関総覧** 地方史研究協議会 増補改訂版 山川出版社 1990

○**公共図書館の特別コレクション所蔵調査報告書** 日本図書館協会 1997

◎**東京都立図書館 専門図書館ガイド** <http://metro.tokyo.opac.jp/tml/trui/>

■II-1-4 世界史

○**世界の歴史**。— 朝日新聞社, 1985.11-1991.6。— (週刊朝日百科 ; 664号～804号)

○**歴史学事典**。第1-15巻、別巻1(総索引) / 尾形勇。— 弘文堂, 1994-2009

○**アジア歴史事典** 1-10 平凡社。— 平凡社, 1985.1 ※平凡社昭和34～37年刊の新装復刊。

○**東洋歴史大辞典** / 下中弥三郎. — 臨川書店, 1986.10 ※平凡社昭和12～14年刊の縮刷複製。満州・蒙古から東南アジア・西アジアまで含み、近代に至るに従って記述を詳細にしてある。第9巻に漢字・カタカナ・欧文索引とし支那人名・地名の現代音索引がある。

○**中国学芸大事典** / 近藤春雄. — 大修館書店, 1978.10 ※中国の文学・思想をはじめ、音韻、言語、文字・金石・書画・歴史・地理・音楽など諸般の学術に関する人名、書名、事項について解説する。日本漢学関係の項目も収録する。名編秀句なども収録する。

■II-1-5 皇室事典

○**皇室の百科事典** / 歴史百科編集部. — 新人物往来社, 1988. ※新しいものでは『岩波天皇・皇室辞典』(原武史, 吉田裕. 岩波書店, 2005)など

○**宮内庁要覧**. — 宮内庁, 年刊 ※平成17年版で廃刊。

・**平成新修旧華族家系大成** p13 II-1-2 人物調査 - 近世以前「華族」を参照。

・**故実叢書**. 第39 索引 / 故実叢書編集部. — 新訂増補. — 明治図書出版, 1957

■II-2 地理

■II-2-1 地理学

○**最新世界各国要覧** / 東京書籍編集部. — 12訂版. — 東京書籍, 2006.7

○**人文地理学辞典** / 山本正三. — 朝倉書店, 1997.10

約1,940項目の用語を解説。参考文献、関連する参照項目を記載。従来の人文地理学のほか、計量地理学や歴史地理学などの分野からも重要な用語を採録する。巻末に「人文地理学関係主要雑誌」(和文・欧文)「人文地理学関係主要統計調査」、和文索引・欧文索引を付す。

○**世界地図情報事典** / R.B.パリー, C.R.パーキンス[他]. — 原書房, 1990.12 ※世界各国の地図作成の歴史を含めた現在の概況、出版状況、地図カタログ、関係機関の連絡先等を記す。原書World mapping todayは2000年に第2版が刊行済み。※World mapping today ; graphic indexes prepared by Cartographic Unit, Department of Geography, University of Reading, UK.. — 2nd ed.. — Bowker Saur, c2000.

○**地理学関係書誌の書誌** 奥野隆史編 皓星社, 1998 1冊 ※日本国内で1880年から1996年までに刊行された図書と雑誌論文に掲載されている文献目録、抄録集、雑誌総索引・総目次を約13,000件収録。第1部「文献目録・抄録集集覧」では主題と地域に区分して、それぞれの中を編著者の五十音順に排列。第2部「雑誌総索引・総目次集覧」では雑誌名の五十音順に排列。

■II-2-2 地名辞典

○**角川日本地名大辞典** 角川書店, 1978-90年 49冊 ※各都道府県別に1冊ずつ刊行。各巻は、「総説」「地名編」「地誌編」「資料編」の4部構成で、歴史的経緯・変遷の記述が詳しい。資料編には、小字一覧、地誌類目録や参考図書目録などを掲載する。別巻1「日本地名資料集成」には、「日本の国号」「地名主要資料解説」などを収載する。別巻2「日本地名総覧」は、本編(全47巻)に収録した地名を五十音順に排列した総索引であり、また、「難読地名一覧」も収載する。本編(全47巻)の「地名編」のみCD-ROM版がある。

○**日本歴史地名大系** 平凡社, 1979-2005年 52冊 ※原則として、各都道府県別に1冊ずつ刊行(京都、大阪、兵庫は2冊に分けて刊行)。歴史的、文学上の地名のほかに遺跡や寺社なども掲載。地方文書や土地の口碑伝承も丹念に引用、紹介する。各巻巻末には、「文献解題・用語解説」「行政区画変遷・石高一覧」「索引」(五十音順索引・難読地名一覧)を収録。本編50冊刊行の後に、約400,000項目を五十音順に排列した「総索引」(1冊)と「現行都道府県名・市区町村名」など8分野からの検索が可能な「分類索引」(1冊)が刊行されている。ネットワーク版もあり。

(<http://rekishi.jkn21.com/top/corpdisplay> 有料)。

○**大日本地名辞書** 増補版 吉田東伍著 富山房, 1969-71 8冊 ※初版は1900-09年(明治33-42)。旧かな使いで文語体。旧国名別に構成。琉球・台湾・樺太も含む。古典籍、歌舞伎や古典文学の作品に見られる地名なども収録。古い地名を調べるのに便利。第1巻に、国号についての解説や索引(かな、漢字)がある。

○**古代地名大辞典** 角川文化振興財団編 角川書店, 1999 2冊 ※『角川日本地名大辞典』の編集成果をふまえ、新しい研究成果や『万葉集』『風土記』に見える地名を採録し直すなどの大幅な編集を加えた。文治元年(1185年)までに成立した史料に見える歴史的地名と自然地名、約12,400項目を収録。地名を五十音順に排列し、時代規定、地名の種類、所属国郡名、別称、出典などを掲載。「索引・資料編」は解説文中の地名も含めた索引、難読項目一覧などを収録。

○**新日本地名索引** / 金井弘夫. — アボック社出版局, 1994.3

○**新日本地名索引. 別巻-地名レッドデータブック** / 金井弘夫. — アボック社出版局, 1994.12

○**市町村名語源辞典** / 溝手理太郎. — 改訂版. — 東京堂出版, 2001.9

○**日本全河川ルーツ大辞典** / 村石利夫. — 竹書房, 1979.5

○**日本山岳ルーツ大辞典** / 池田末則[他]. — 竹書房, 1997.12

○**日本の島事典** / 菅田正昭. — 三交社, 1995.6

○**外国地名レファレンス事典** / 日外アソシエーツ株式会社. — 日外アソシエーツ, 2006.7 ※地名の日本語表記、原綴を調べる事典。

■II-3 民俗

○**守貞謄稿図版集成** / [喜田川守貞][他]. — 雄山閣, 2002.1 ※近世風俗史の基本文献である『守貞謄稿』(国立国会図書館所蔵 喜田川守貞自筆稿本)に掲載の全図版約1,800点と、その解説文を収録。原典の絵や参考となる絵巻や浮世絵、写真なども掲載。巻末に、「図版」「文献」「人名・商店名」の各索引と、『守貞謄稿』関連年表、参考図版目録などを付す。『守貞謄稿. 第1-5巻』(東京堂出版, 1992)『近世風俗事典』(人物往来社, 1967)

○**絵でよむ江戸のくらし風俗大事典** / 棚橋正博, 村田裕司. — 柏書房, 2004.10 ※江戸のくらしや風俗を、当時流行した黄表紙を中心とする出版物に描かれた絵を用いて再現した資料。

○**日本風俗史事典** / 日本風俗史学会. — 弘文堂, 1979.2 ※古来の有職故実から身近な風俗に至る2,000余の見出し項目を解説する。必要に応じ項目末に参考文献を、巻末には五十音順索引を付す。日本人の生活文化を知る基本文献である。縮刷版(1994年)もある。

□書誌

○**日本民俗学文献総目録** 日本民俗学会編 弘文堂, 1980 1冊 ※明治から1975年末までに発表された日本民俗学に関する書籍、論文、調査報告などを収録。衣食住、年中行事、信仰、芸能などに分類し、同一分類内を五十音順に排列する。

◎**国立歴史民俗博物館データベース一覧** <http://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html>

■III 宗教・哲学

■III-1 宗教

○**宗教年鑑** 文化庁編 ぎょうせい, 年刊

○**世界宗教大事典** — 平凡社, 1991.2

○**日本の神仏の辞典** / 大島建彦. — 大修館書店, 2001.7 ※日本人の生活の中から、さまざまな信仰の対象と認められるものを解説する。神道、仏教、民俗信仰をはじめ、修験道、道教・陰陽道、キリスト教、新宗教、アイヌ民族や奄美沖縄の信仰なども含む。項目数は約19,000で、五十音順に排列。項目の末尾に参考文献を掲げる。

- 神道事典** / 国学院大学日本文化研究所. — 弘文堂, 1994.7
- 神道史大辞典** / 藺田稔, 橋本政宣. — 吉川弘文館, 2004.7 ※『国史大辞典』より選択した2,800の神道関係の項目に、新たに1,300項目を加えたもの。見出しの五十音順。神仏習合史や儒教、道教、修験道、キリスト教など関連事項も努めて立項する。採録項目の多くには参考文献も記す。「官国幣社一覧」「府県社一覧」「終戦前の海外神社一覧」「神社統計表」「神社規則」を収録。巻末に索引を付す。
- 全国神社名鑑** / 全国神社名鑑刊行会史学センター. — 全国神社名鑑刊行会史学センター, 1977.7
- 望月仏教大辞典** 第1-10巻 / 望月信亨[他]. — 増訂版. — 世界聖典刊行協会, 1954-1963 ※仏教に関する術語、命数・経名・仏名・行事他、あらゆる項目を収め、詳細に解説する。仏教辞典として最重要文献。
- 日本仏教史辞典** / 今泉淑夫. — 吉川弘文館, 1999.11 ※『国史大辞典』から仏教関係の項を抽出し補記訂正を加え、そのほか仏教史関係の項を加えて編集した辞典で、約4,700項目を掲載。項目には解説の後に必要に応じて参考文献の項目を付す。巻末に付編として、「図像」「国師号一覧」「禅師号一覧」「禅僧別号一覧」、索引として、五十音順の事項索引を付す。
- 総合佛教大辞典** / 総合佛教大辞典編集委員会. — 法蔵館, 2005.2 ※『総合仏教大辞典』(全3冊 1988年刊)を合冊したもの。12,000余りの項目を、かな見出しの五十音順に排列。巻末に「仏教主要叢書目録」と「総索引」(冠字画引、和文索引、欧文索引)を付す。
- ・**仏教日常辞典** / 増谷文雄, 金岡秀友. — 新装. — 太陽出版, 2005.3
- ・**日本の仏教を知る事典** / 奈良康明. — 新版. — 東京書籍, 2005.8
- 日本寺院総鑑** 2000版. — 寿企画, 2000. ※『寺院大鑑』(久遠出版, 1994)他、各種がある。
- 一切経解題辞典** 鎌田茂雄: 総監修 大東出版社, 2002 1冊 ※大蔵経と一切経は同じ。593書目と、その著・訳者232人についての解釈を施す。『大蔵経全解説大事典』(鎌田茂雄 他編 雄山閣 1998年)は大正新脩大蔵経に収録されている順に排列されているが、この辞典は經典名の五十音順排列。經典の正式名からばかりでなく通称から正式名への参照がある。漢文、和文のテキスト、例えば、南伝大蔵経や国訳一切経の収録箇所がわかる。巻末に漢字索引、ローマ字索引を付す。
- 大正新脩大蔵経総目録** / 大蔵出版編集部. — 大蔵出版, 2007.9
- 仏書解説大辞典** 小野玄妙編纂 大東出版社, 1980-88 15冊
- キリスト教年鑑** キリスト教年鑑編集部編 キリスト新聞社, 年刊 3冊 ※現代日本のキリスト教界の現状を網羅する。本編、人名録、特集・記録・統計集の3分冊。
- 世界キリスト教百科事典** / David B.Barrett. — 教文館, 1986.10
- 日本キリスト教歴史大事典** 日本キリスト教歴史大事典編集委員会編 教文館, 1988 1冊 ※日本にキリスト教が伝来した16世紀から現代までのキリスト教史の変遷を記載。巻末に、人名索引。
- 新共同訳聖書コンコルダンス** / 木田献一, 和田幹男[他]. — キリスト新聞社, 1997.5

□解題・書誌

- 日本思想史文献解題** 新版 大倉精神文化研究所 角川書店, 1992.6 ※慶応4(明治元)年までの日本思想史文献の解題書誌。解題: 書名、著編者名、著作年代、巻冊数、別称、略称、内容、版本・写本の所蔵者、評価、後世への影響などを記す。
- 日本宗教史研究文献目録** 1、2 大濱徹也ほか編 岩田書院 1995、2000 2冊 ※『日本宗教史研究入門』(笠原一男編 評論社 1971年刊)収録の「研究論著目録」(1945-70年の文献)のあとを受けて編集。1には1971-86年、2には1987-97年分を収録。構成は、総記・通史、古代、中世、近世、近現代、民俗の6分野別で、その中は著者名の五十音順排列。
- 神道人物研究文献目録** 国学院大学日本文化研究所編 弘文堂 2000.3
- 岡村 光章「**国立国会図書館所蔵聖書目録**」(『参考書誌研究』34号 p29～76) [1988.7] ※リサーチ・ナ

ビにて、記事が閲覧できる。<http://mnavi.ndl.go.jp/bibliography/tmp/34-05.pdf>

◎日本思想史文献データベース検索 <http://www.sal.tohoku.ac.jp/dojih/>

■IV 芸術・言語・文学

■IV-1 芸術

■IV-1-1 美術

□美術全般

○**美術年鑑** 美術年鑑社〔編〕美術年鑑社、年刊 ※創刊1929年。日本画・洋画・彫刻・工芸・書の現代作家について、作品評価額・受賞歴・師・住所等を記載する他、日本の古美術、明治以降の物故作家の作品評価額、古美術鑑定家一覧等を所収。また過去一年について、各美術賞受賞者、展覧会、美術界動向、物故者などを記す。カラー図版多数掲載。人名索引あり。

○**日本美術年鑑** 文化財研究所東京文化財研究所〔著〕中央公論美術出版、年刊 ※1936(昭和11)年創刊。年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目から成る。「文献目録」として過去1年の新聞、雑誌、展覧会目録に掲載された美術関係の記事を掲載。図版なし。人名索引なし。

◎**東京文化財研究所** http://www.tobunken.go.jp/index_j.html

○**国宝・重要文化財大全** 文化庁監修 毎日新聞社、1997-2000 13冊 ※平成9年6月までに指定されたものを収録。別巻は所有者別総合目録・名称総索引・統計資料。なお、この大全には解説がないが『国宝大事典』(講談社1985-86年 5冊)は宝物の解説も記す。

○**人間国宝事典 重要無形文化財認定者総覧** 工芸技術編 [2009]増補最新版 芸艸堂、2009年 1冊 ※1992年からほぼ隔年で出版。新たに指定された工芸技術及び認定された保持者・保護団体を追加して刊行している。

○**原色浮世絵大百科事典** 11冊 / 日本浮世絵協会原色浮世絵大百科事典編集委員会。一 大修館書店、1980-82

○**浮世絵大事典** / 国際浮世絵学会。一 東京堂出版、2008.6

○**日本美術作品レファレンス事典** / 日外アソシエーツ株式会社。一 日外アソシエーツ、1992- ※作品名・作家名から美術品(絵画、浮世絵、彫刻、書、陶磁器など)の図版が収録されている一般美術全集を調べることができる。近年、個人美術全集へも拡張中。14冊。同様なものに、『西洋美術作品レファレンス事典』がある。

○**書家画家雅号(呼称)索引**。上下 小笠原長則。一 日本地域社会研究所、2000.8

○**古書家画家雅号索引** 小笠原長則。日本地域社会研究所、1996

○**日本書画鑑定大事典** 第1巻(あ-か)～ / 中野雅宗。一 国書刊行会、2006.9 ※全9巻の予定。既刊7冊。書画、陶器工芸品の物故作家を中心に約48,000名を採録。

○**日本学術資料総目録 美術工芸篇** 1988年度版。一 朝日出版社、1988.4 ※日本国内の博物館が所蔵する美術工芸品の総合目録

○**西洋美術全集絵画索引** 東京都立中央図書館監修 日本図書館協会、1999 ※1950年代から1997年に日本で出版された美術全集類に収められた西洋の絵画作品を、画家名、画題名から検索できるようにした索引。都立中央図書館所蔵の美術全集から、概ね12世紀以降の作品を収録。

○**World painting index** / by Patricia Pate Havlice.. — Scarecrow Press, 1977. ※First supplement 1973-1980, 1982. Second supplement 1980-1989, 1995. Third supplement, 1990-1999, 2003もあり。作品名から掲載資料を確認できる他、掲載図版の白黒か彩色かがわかる。

◎**独立行政法人国立美術館 所蔵作品総合目録検索システム** <http://search.artmuseums.go.jp/> ※東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館が、概ね2010年3月末までに収蔵した作品の総合目録。作家名、作品名、ジャンル、製作年代等から検索できる。絵画・版画・彫刻・書・写真・工芸・他を収録し、部分

的に画像もあり。

○The Dictionary of art / editorial advisory board, Terukazu Akiyama ... [et al.] ; consulting editor, Hugh Brigstocke ; editor, Jane Turner.. — Grove's Dictionaries, 1996.

○日本美術作品レファレンス事典 個人美術全集・絵画篇 1- / 日外アソシエーツ株式会社. — 日外アソシエーツ, 2011.7- ※美術作品レファレンス事典が個人全集も扱うようになってきた。

□各美術館のHPで所蔵品の検索や電子化画像が見られる

◎東京国立近代美術館—所蔵作品総合目録検索システム <http://search.artmuseums.go.jp/>

◎横浜美術館—電子所蔵品目録 <http://www.yaf.or.jp/yma/collection/>

◎東京国立博物館—コレクション http://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=95

◎愛知芸術文化センター <http://www.aac.pref.aichi.jp/index.html>

◎Art cyclopedia <http://www.artcyclopedia.com/> ※作家・作品検索 様々な美術関係情報へのリンク集

◎フランス文化省美術史データベース <http://www.culture.gouv.fr/culture/bdd/index.html> ※美術関係リンク集

◎JOCONDE <http://www.culture.gouv.fr/documentation/joconde/fr/pres.htm> ※全フランスの美術館収蔵作品を収録。個々の作家の作品データ、一部画像も掲載。2011.1現在442,000件のデータを収録する。

◎The Metropolitan Museum of Art - Collections <http://www.metmuseum.org/collections/p> ※収蔵品検索可

◎Montableau.com <http://www.montableau.com/> ※複製品の販売サイト。原題と作品imageがわかる。

□展覧会カタログ

○東京都現代美術館所蔵展覧会カタログ目録 日本語(本文・索引編)東京都現代美術館, 2000-2001 ※同美術館が1993年3月までに受け入れた展覧会カタログの目録。書名、美術作家、美術館から検索可。

○石渡裕子「国立国会図書館所蔵戦前期美術展覧会関係資料目録」『参考書誌研究』(50) (1999.2)

※1872(明治5)年～1944(昭和19)年に国内で開催された美術展覧会・博覧会の出品目録、図録類。リサーチ・ナビにて、記事が閲覧できる。<http://navi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn50-59.php> なお、当館には昭和30年代～60年頃の展覧会カタログ2,816点を集めた「加藤まこと展覧会図録コレクション」もある(NDL-OPAC検索可能。請求記号は「VG2-」)。

◎美術図書館横断検索 <http://alc.opac.jp/> ※東京国立近代美術館、国立新美術館、東京都現代美術館、横浜美術館、国立西洋美術館、東京都写真美術館、東京国立博物館、江戸東京博物館、神奈川県立近代美術館の美術図書館所蔵資料が検索可能。

◎東京文化財研究所—同研究所所蔵展覧会カタログ <http://archives.tobunken.go.jp/internet/cbkensaku.aspx>

※同館が受け入れた展覧会カタログ、30,906件(2011年3月25日時点)を収録。明治時代からあり。

◎東京文化財研究所—近現代美術展覧会開催情報検索

<http://archives.tobunken.go.jp/internet/exkensaku.aspx> ※1935年から2010年4月末までに主に国内で開催された近現代美術関係の展覧会情報179,256件を登録している。

□書誌

○美術関係雑誌目次総覧. 明治・大正・昭和戦前篇 上中下, 人名索引 小林忠 国書刊行会, 2000.5

○日本東洋古美術文献目録. 1966-2000年 東京文化財研究所美術部, 2005.3

○日本東洋古美術文献目録. 昭和11年-40年 東京国立文化財研究所美術部5版中央公論美術出版, 1997

□写真

- 村上清子「国立国会図書館所蔵写真帳・写真集の内容細目総覧：明治・大正編」『参考書誌研究』(33) p.1-10,1-436 (1987.11) ※リサーチ・ナビにて、記事が閲覧できる。
<http://mavi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn30-39.php> 続編に『国立国会図書館所蔵写真帳・写真集内容細目総覧。昭和前期編』(国立国会図書館専門資料部編 国立国会図書館 1999)がある。
- ◎YOMIURI ONLINE「よみうり報知写真館」<http://www.yomiuri.co.jp/shashinkan/>
- ◎MAINICHI-interactive「毎日フォトバンク」https://photobank.mainichi.co.jp/php/KK_search.php
- ◎長崎大学附属図書館 幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース <http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/univ/>

■IV-1-2 音楽

- 音楽年鑑 音楽之友社 ※2005年で休刊
- 演奏年鑑 日本演奏連盟, 年刊
- ニューグローヴ世界音楽大事典 [グローヴ] [著] Stanley Sadie [ほか編] 柴田南雄, 遠山一行総監修 講談社 1993-1995 23冊(1～21巻, 別冊1, 2) ※原本(英語版)はイギリスのマクミラン社が1980年に刊行。翻訳に際して最新の研究成果により増補・改訂を行った。別巻1は書誌・史料・史料収集。別巻2は参考文献。原書は2版が刊行済み。
- 日本民謡大事典 浅野健二著 雄山閣出版, 1983年 ※各地の民謡・民俗芸能・童唄の曲目や民謡一般の分類語彙、人名、書名など約2,500項目を、一部署名入りで学術的な解説を施した事典。巻頭に、分類別曲目一覧、府県別曲目一覧があり、巻末に、唄い出し索引、総索引を付す。『日本民謡大鑑』(榊原帰逸 西田書店, 1985.5 2冊)もある。
- 日本流行歌史 上中下 古茂田信男 [ほか]編 新版 社会思想社, 1994-95 3冊 ※歌いだし索引あり。
- 日本唱歌集 堀内敬三、井上武士編 岩波書店, 1991 (ワイド版岩波文庫) ※歌いだし索引あり。
- 明治・大正・昭和のうた：童謡・唱歌・歌謡曲・軍歌・戦時歌謡・寮歌・校歌 梧桐書院 2003年 ※歌いだし索引あり。
- 日本民謡集 町田嘉章、浅野健二編 岩波書店, 2004 (ワイド版岩波文庫) ※歌いだし索引あり。
- 音楽研究所年報第5集別冊 [3] 国立音楽大学音楽研究所「唱歌索引」国立音楽大学音楽研究所, 1985.3
- The New Grove dictionary of music and musicians / edited by Stanley Sadie ; executive editor, John Tyrrell.. — 2nd ed.. — Grove, 2001.
- Die Musik in Geschichte und Gegenwart : allgemeine Enzyklopädie der Musik / begründet von Friedrich Blume.. — 2. neubearbeitete Ausg. / herausgegeben von Ludwig Finscher.. — Bärenreiter, c1994

□楽譜の所蔵機関

- ◎国立音楽大学附属図書館WebOPAC <https://www.lib.kunitachi.ac.jp/wopac/Webopac.html>
- ◎民音音楽博物館音楽ライブラリーWebOPAC <http://webopac.min-on.or.jp/csp/mosw/cal950.csp>
- ◎桐朋学園大学音楽学部附属図書館WebOPAC <http://tohoopac.tohomusic.ac.jp/webopac/catsrk.do>

□書誌

- 音楽文献目録索引. 1-20(1973-1992) / 音楽文献目録委員会. — 音楽文献目録委員会, 1995.6
- 音楽文献目録 / 音楽文献目録委員会. — 音楽文献目録委員会, 年刊

■IV-1-3 映画

- 映画・映像産業ビジネス白書. 2011-2012. — キネマ旬報社, 2011.7 ※映画の興行面を詳述する準年鑑。
- 日本と世界のコンテンツ市場データベース / ヒューマンメディア. — ヒューマンメディア, [1](2007)- 4(2010)
 ※アニメ市場、マンガ市場について係数あり。

- 映画年鑑** 時事映画通信社〔編〕時事映画通信社、年刊 ※別冊に「映画館名簿」あり。
- 日本映画作品辞典 戦前編** 日本映画史研究会編 科学書院、1996-1998 ※戦前編5冊は1896年から1945年8月15日までに上映された作品を収録。各作品の製作会社、封切年、監督、主演等を記載。俳優名索引、スタッフ名索引あり。
- 日本映画作品辞典 戦後篇 1** / 日本映画史研究会. — 科学書院、1998 6冊 ※1945年から1988年を収録
- 舶来キネマ作品辞典-日本で戦前に上映された外国映画一覧** 世界映画史研究会編 科学書院、1997
※1945(昭和20)年8月15日以前に日本で上映された作品を収録。邦題の現代仮名で排列。記載事項は、邦題、ジャンル、原題、製作国、製作年、封切年、スタッフ、主演俳優など。俳優名索引 スタッフ名索引、原題名索引があり。
- 舶来キネマ作品辞典 戦後篇 -日本で戦後(1945～1988)に上映された外国映画一覧1** / 世界映画史研究会. — 科学書院、2004.2. 6冊
- 日本映画人名辞典 俳優篇** / 日本映画史研究会. — 科学書院、2005.4 3冊
- 日本映画人名辞典 スタッフ篇** / 日本映画史研究会. — 科学書院、2005.4 5冊
- 世界映画人名辞典 俳優篇** / 世界映画史研究会. — 科学書院、2007.2 8冊
- 世界映画大事典** / 岩本憲児,高村倉太郎[他]. — 日本図書センター, 2008.6
- 映画大全集** / AVエクスプレス. — 増補改訂版. — メタモル出版, 2003.1 ※1945年から2002年夏までに公開された邦画・洋画を収録する。
- 日本劇映画総目録** / 朱通祥男[他]. — 日外アソシエーツ, 2008.7
- 戯曲・シナリオ集内容総覧** / 日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ 2002.5 ※1946-2001年に国内刊行された戯曲・シナリオ集(古典芸能を除く)の内容細目集。
- シナリオ文献** / 谷川義雄編 増補改訂版 風濤社、1997 ※戦前の映画雑誌と戦後の映画雑誌・図書に所載のシナリオ索引。
- 事典映画の図書** / 辻恭平 卓上版 凱風社、2009.9 ※「【9】日本映画シナリオ・物語、外国映画シナリオ・物語」等参照。1989年刊行と内容は同一。
- 日本戯曲総目録: 1880-1980** 加藤衛編 横浜演劇研究所、1985 2冊 ※雑誌・単行本に掲載した日本・外国の戯曲を収録。シナリオ・テレビ用台本・ラジオドラマ・学校劇を除く。
- 演芸画報総索引 作品編** / 国立劇場芸能調査室. — 平凡社、1976 ※『演芸画報』(刊行期間:1907年～1943年)に収載された脚本の索引。
- 戦後日本戯曲初演年表 第1-10期** 大笹吉雄監修 日本劇団協議会、1999-2008 ※1960年以降を収録。作品を収録する書名・誌名を記載。巻ごとに作者名・作品名索引あり。
- 日本映画文献書誌: 明治大正期** 1,2,索引 牧野守編 雄松堂書店、2003 ※1.1876-1922 2.1923-1926 3.索引 雑誌記事も収録する。
- The complete index to literary sources in film** / edited by Alan Goble.. — Bowker-Saur, c1999.
- International Index to Film Periodicals**. — International Federation of Film Archives (FIAPF) 年刊
- ◎**Movie Walker** <http://movie.walkerplus.com/>
※1950年から近年公開の作品まで、日本映画、外国映画をタイトル、人名などが検索できる。
- ◎**日本映画製作者連盟** <http://www.eiren.org/> ※「日本映画産業統計」過去配給収入上位作品等を掲載。
- ◎**Simply Scripts** <http://www.simplyscripts.com/movie.html> ※洋画の原タイトルからシナリオが検索できる。
- ◎**The Internet Movie database (IMdb)** <http://www.imdb.com/> ※映画の情報、興行収入等の情報。
- ◎**LUMIERE Data base on admissions of films released in Europe** <http://lumiere.obs.coe.int/web/search/>
※ヨーロッパで公開された映画の情報、入場者数等の情報が得られる。

■IV-1-4 演劇

○**演劇年鑑** 日本演劇協会, 年刊

○**舞踊年鑑** 全日本舞踊連合, 年刊

○**演劇年表** 藤田洋著 桜楓社, 1992 3冊

○**演劇百科大事典** 新装復刊 早稲田大学演劇博物館編 平凡社, 1986 6冊(1巻～6巻) ※初版は1962年刊。約14,000項目を収録。第6巻に索引、参考文献、全集・双書目録などを掲載。

○**歌舞伎事典** 新訂増補 服部幸雄、他編 平凡社, 2000 1冊 ※初版は1983年刊。約1,500項目を収録。収載記事に最新の情報を加えて全面的に書き直して刊行したもの。名鑑や家系図も掲載する。巻末に、参考文献一覧、索引を付す。『歌舞伎人名事典 新訂増補』(野島寿三郎編 日外アソシエーツ, 2002)もある。

○**狂言ハンドブック** / 小林貢[他]. — 第3版. — 三省堂, 2008.2 ※同シリーズに『能楽ハンドブック』『日本舞踊ハンドブック』『文楽ハンドブック』あり。

○**日本芸能人名事典** / 倉田喜弘, 藤波隆之. — 三省堂, 1995.7 ※古代から現代まで、古典芸能関係から現代の芸能人まで収録する。

○**日本芸能事典** / 日外アソシエーツ編集部. — 日外アソシエーツ, 2008.2 ※1958年(昭和33)から2007年(平成19)までの、日本の芸能界の代表的な出来事を年月日順に掲載。

◎**早稲田大学演劇博物館デジタル・アーカイブ・コレクション**(<http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/>)では、「演劇博物館所蔵雑誌データベース」や「現代演劇上演記録」「浮世絵」などが検索できる。

■IV-2 言語

○**日本語学研究事典** / 飛田良文, 遠藤好英, 加藤正信, 佐藤武義, 蜂谷清人, 前田富祺. — 明治書院, 2007.1

○**言語学大辞典** / 亀井孝. — 三省堂, 1988-96 6冊

■IV-2-1 国語・国語辞典

○**日本国語大辞典** 第2版 小学館, 2000-02 14冊 ※国語辞典としては収録語彙数が最大である。収録語は古語から現代語まで、人名や地名等の固有名詞や専門用語を含む約500,000語。用例総数1,000,000。用字用法の例は、古代から現代までの歴史的経緯にそって記述され、ある言葉が最初に使用されたと思われる資料の出典を確認できる。別巻には「漢字索引」「方言索引」「出典一覧」を収む。初版は1972-76年刊 20冊(縮刷版 1981-84年刊)。ジャパンレジプラス(<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay> 有料)で検索・表示できる。

○**広辞苑** 第6版 岩波書店, 2008 2冊 ※単なる国語辞典ではなく、学術専門語、固有名詞を含む百科全般にわたる語を収録。人名は物故者に限定。ことばの定義を簡明に表現することを主眼とする。約240,000語を収録。

○**大辞林** 第3版 松村明他編 三省堂, 2006 1冊 ※現代語を中心に古語、固有名詞や百科万般の広い分野から約238,000語を収録。CD-ROM版『スーパー大辞林』、webで前版である『デジタル大辞典』の検索可。

<http://dictionary.goo.ne.jp/>

○**学研国語大辞典** 第2版 金田一春彦他編 学習研究社, 1988 1冊 ※102,000語を収録。現代語が中心。明治から現代に至るまでの主な小説、戯曲、評論、詩、新聞などから広く語彙、用例を収集し典拠を示す。

○**大辞典** 第1-26巻 / 平凡社 — 平凡社, 1954

○**国語年鑑** 1954-2008 国立国語研究所編 秀英出版, 年刊 ※1995年以降の出版者は大日本図書

◎**国立国語研究所 国語学研究文献検索** http://www6.ninjal.ac.jp/kokugogaku_bunken/

※1954年から2004年までの雑誌論文を中心に約15万6千件検索可。2005年から2007年までは次年度版『国語年鑑』付録CD-ROM収録。2011年1月に「[日本語研究・日本語教育文献データベース](http://dbms.ninjal.ac.jp/bunken/data/)」

(<http://dbms.ninjal.ac.jp/bunken/data/>)とデータ統合。今後は、このデータベースにデータが追加される。

■IV-2-2 格言・名言

○**故事・俗信ことわざ大辞典** / 尚学図書. — 小学館, 1982. ※日本・中国・西洋の古事・ことわざを解説する。典拠資料として、日本の近世以前の文献、中国典籍等をあげ、聖書からも示す。巻末に文献資料一覧として、日本文献、中国文献、郷土資料一覧を付す。

○**知っておきたい日本の名言・格言事典** 大隅和雄、他著 吉川弘文館, 2005 1冊 ※古代から近代までの歴史上の主要な人物114人を収録。名言・格言を原典にもとづいて、解説、出典、参考文献も記す。巻末に「人名索引」「頭語句索引」を付す。

○**故事成語名言大辞典** / 鎌田正, 米山寅太郎. — 大修館書店, 1988.10

○**世界名言・格言辞典** / モーリス・マルー[他]. — 東京堂出版, 2005.5

■IV-2-3 方言辞典・古語辞典

○**現代日本語方言大辞典**. 第1-8巻, 補巻 / 平山輝男. — 明治書院, 1992-1994

○**日本方言大辞典** 尚学図書編 小学館, 1989 3冊(上巻、下巻、別巻) ※全国各地の方言を五十音順に排列。巻頭に「原資料および出典番号一覧」がある。索引編は「一般語編」「動物編」「植物編」「民族語彙編」からなる。『標準語引き 日本方言辞典』(小学館辞典編集部編 監修:佐藤亮一 小学館 2004年)もある。

○**角川古語大辞典** 中村幸彦、他編 角川書店, 1982-99 5冊(1巻-5巻) ※上代から近世末以前の文献に用いられている語を収録。単なる語義だけでなく、原典に即した確実な用例を示し、可能な限り典拠も掲載。図版多数。CD-ROM版もある。類書としては『古語大辞典』(中田祝夫、他編 小学館 1983 1冊)がある。

○**全訳古語辞典** 久保田淳、室伏信助編 角川書店, 2002 1冊 ※約31,000語を収録。上代の『古事記』から近世の『おらが春』までの主要古典から古文学習に必要な一般古語を精選。書名、人名、地名などの固有名詞や和歌、歌謡(約600)、俳句、狂歌、川柳(約300)も採録。『百人一首』は全歌を掲載。

○**時代別国語大辞典** 室町時代編 1-5 室町時代語辞典編修委員会 三省堂 1985-2001

○**現代語から古語を引く辞典** 芹生公男編 三省堂, 2007 1冊 ※「基本語の周辺」(着物、食物など基本語を意味によって分類し掲載)、「本文」(現代語の見出し約9,500)「古語総索引」(古語から現代語の検索が可、また古語の類語の検索も可)からなる。

■IV-2-4 語源・類語辞典

○**日本語源大辞典** / 前田富祺. — 小学館, 2005.4

○**語源海** 杉本つとむ著 東京書籍 2005 1冊 ※日常生活で一般的に用いられる日本語の語源を明らかにすることを目的とする。可能な限り用例を掲載。「語源こぼれ話」「主要用例出典一覧」等収録。巻末に索引を付す。

○**三省堂類語新辞典** / 中村明, 芳賀綏, 森田良行. — 三省堂, 2005.11 ※言葉を自然、人間、文化を中心に分け、ジャンル毎に排列、語義を簡潔に記す。用例を多数示し、国語辞典にはない日常語も積極的に立項する。巻末に索引を付す。記載が詳細な『類語大辞典』(講談社 2002)等もある。

■IV-2-5 漢和辞典

○**大漢和辞典** 1巻-12巻、補巻、索引、語彙索引 修訂第2版 米山寅太郎修訂 諸橋轍次著 大修館書店, 1989-2000 15冊 ※親字は正字・略字・俗字・国字を含む約50,000、語彙数が約526,000と漢和辞典としては最大級のもの。語彙は経史子集にわたる古典を中心に採取し、成語、故事熟語、地名、人名、官職、動植物名、学術用語、仏教語、邦語に及ぶ。出典・引用文を付す。

○**講談社新大字典** 上田万年、他編 講談社, 1993 1冊 ※親字、約21,000余字。熟語数、約110,000余語。1冊本の漢和辞典としては最多収録字数。旧版の『大字典』(上田万年、他編 講談社 1917年 1冊)と比べると、異体字など4,000字の補充を行ない、音訓索引、総画索引を充実させるなどの改訂が施されているが、旧版にあった画引索引は

削除されている。

○**角川大辞源** / 尾崎雄二郎, 一 角川書店, 1992.2 ※日本以外に中国の文学・言語・哲学研究者の利用も考慮した辞典。親字約10,000字、熟語約100,000語を収録。常用漢字、字音の種別、現代中国音を示す。字義の出典・用例を明記する。古訓覧は時代別に訓の発生、変遷を示す。本文・索引とも常用漢字は色刷り。付録に国字一覧、中国文化史年表等を付す。ハンディな『角川新辞源』(小川環樹 改訂版 角川書店, 1994 親字10,000万字、熟語60,000語)もある。

○**学研新漢和大辞典** 藤堂明保、加納喜光編 学習研究社, 2005 1冊 ※親字19,700字、熟語約110,000語を収録。豊富な用例をあげる。原文に読み下し文もつける。

○**全訳漢辞海** / 戸川芳郎[他], 一 第3版, 一 三省堂, 2011.2 ※収録親字数12,500、JIS第1水準～第4水準の10,050字すべてを収録。伝統的な部首配列。熟語約80,000語を収録。例文には、読み下しと現代語訳を付す。

○**難字・異体字辞典** 普及版 有賀要延編 国書刊行会, 1987 1冊 ※仏教書、漢籍などの版本、写本中の難字といわれる文字を取り上げ、その正字体を示したもの。各難字ごとに辞典を明記する。本篇(部首別、画数順排列)の「難字辞典」の他に、「難字総画索引」「仏教省文草体」「かな文字一覧」を収録。

○**国字の辞典** 菅原義三編 東京堂出版, 1993 1冊 ※国字とは日本人の造字した文字、中国にない文字のこと。1,553字を収録。部首別、画数順排列。巻頭に「主要出典一覧」を掲載。字体は確認できるが詳しい記載はない。巻末に五十音順排列の索引を付す。

・**漢語大辞典** 漢語大辞典出版社 p32 IV-3-3 漢詩の出典・書き下し・現代語訳「出典しらべ」を参照 ※文言から現代中国語までの網羅的な辞典。

■IV-3 文学

■IV-3-1 文学

○**文芸年鑑** 日本文芸家協会編 新潮社, 年刊 ※日本文芸界(文壇)の1年の動向がわかる。各雑誌新聞に掲載された小説の一覧、戯曲等の作品、会員名簿、文学関係の各賞の一覧等を収録。※他に『俳句年鑑』『短歌年鑑』等

○**国文学年鑑** 国文学研究資料館編 至文堂, 年刊 ※国文学系の研究状況や研究団体などの前年の活動を概観し、研究者などの名簿、研究文献目録を収録。平成17年をもって休刊。文献目録はWeb「国文学論文目録データベース」で公開されている。

○**日本古典文学大辞典** 岩波書店, 1983-85 6冊 ※日本古典文学に関する事項、人物、作品、編著など約13,000項目を収録。第6巻に総索引を付す。

○**日本近代文学大事典** 日本近代文学館編 講談社, 1977-78 6冊 ※第1巻～第3巻が人名、第4巻が事項、第5巻が新聞・雑誌、第6巻が索引(人名、書名・作品名・叢書名、事項、新聞・雑誌から検索可)となっている。

○**新潮日本文学辞典** 磯田光一他編 新潮社 1988 1冊 ※『新潮日本文学小辞典』(1968年刊)の増補改訂版。2,600項目余りを収録。巻末に、人名、書名作品名、新聞・雑誌、事項の各索引を付す。

○**和歌大辞典** 犬養廉、他編 明治書院 1986 ※古典和歌に関する人名、作品、用語など約1万項目を収録。巻末に年表などを付す。

○**新編和歌の解釈と鑑賞事典** 井上宗雄、他編 笠間書院, 1999 1冊 ※旺文社1979年刊の改訂増補。上代の記紀歌謡から現代短歌までの代表歌人335人を取り上げ、その作品843首を収める。排列は時代順で、歌人の略伝、作品の歌意、表現、語釈のほか歌碑などの文学的散歩事項も掲載。巻末に「初句索引」「歌人別索引」「主要語句・事項索引」を付す。

○**現代短歌大事典** 普及版 大島史洋、他編 篠弘、他監修 三省堂, 2004 1冊 ※明治からの短歌史を概観することを意図して約1,500項目を選択して解説を記す。項目は、歌人、評論家、事項、歌誌、歌論、結社、短歌用語など。類書として、『岩波現代短歌辞典』(岩波書店 1999 1冊)がある。

○**現代短歌分類辞典** 全219巻 津端修・津端亨 現代短歌分類辞典刊行所, 1954-1996 ※通巻159(1986)前も内

容的に不可分。近代短歌約60万首を収録。

○**俳文学大辞典** 尾形仂、他編 角川書店, 1996 1冊 ※連歌、俳諧、川柳などに関する人物、書目、雑誌、用語、事項など約13,000項目について解説する。巻末に付録として叢書目録、俳文学年表などがある。

○**日本随筆索引** 正・続 太田為三郎編 岩波書店, 1963 2冊 ※初版は1926年、1932年刊。明治以前に著述された随筆(江戸期が多い)の記述事項を項目として歴史的仮名遣いの五十音順に排列。随筆が書かれた時期に話題となった事象、流行した食べ物、人物の評判などが収録されている随筆を検索できる。巻頭に、この索引を作成するのに使用した資料の一覧である「収録書目」があり、各資料について活字本となった文献を紹介し、写本の場合には所蔵館についての記載がある。

○**日本随筆辞典** 朝倉治彦・監修 東京書籍, 1986 1冊 ※未刊、既刊を問わず、江戸期を中心に約2,400点の随筆を集成、解題したもの。各項目の末尾に、写本、版本、自筆本の所在、翻刻について記載する。巻末に、著者別書名索引を付す。

○**日本説話伝説大事典** 志村有弘、諏訪春雄編 勉誠出版, 2000 1冊 ※各地に伝わる伝説・説話、歴史上の人物、架空の人物、怨霊などを収録。特に奇談と伝承を重視。収録項目は約2,000。『日本伝奇伝説大事典』(乾克巳、他編 角川書店 1986)もある。

○**全国文学碑総覧** 新訂増補 / 宮澤康造・本城靖編 日外アソシエーツ, 2006 1冊

○**日本文学大年表** / 市古貞次、久保田淳。— 新版。— おうふう, 2002.9 ※他に『昭和文学年表』(明治書院, 1995.3 9冊)等もある。

○**文芸雑誌小説初出総覧** 4冊/ 勝又浩[他]。— 日外アソシエーツ, 2005～2011 ※1945年以降、文芸雑誌へ発表された小説・戯曲の索引。初出調査に用いる。作品名篇は『文芸雑誌内容細目総覧 戦後リトルマガジン篇』の情報も収める。

○**日本アナキズム運動人名事典** / 日本アナキズム運動人名事典編集委員会。— ぱる出版, 2004.4 ※マイナー詩人など芸術家や、マイナーな出版者、古書店主などを探す場合に有効。

□書誌

○**日本文学研究文献要覧** 1965-1974(昭和40年代) 1,2,2補遺 「20世紀文献要覧大系」編集部。— 日外アソシエーツ, 1976-1977。— (20世紀文献要覧大系 ; 1,2,2補) ※現代日本文学:1975-1984, 1985-1989, 1990-1994, 1995-1999, 2000-2004, 2005-2009、古典文学:1975-1984, 1985-1989, 1990-1994, 1995-1999, 2000-2004, 2005-2009。

○**日本近代詩作品年表** 明治編・大正編・昭和篇 / 三浦仁。— 秋山書店, 1984-1986 ※索引あり

○**明治翻訳文学全集** 新聞雑誌編 別巻2 川戸道昭, 中林良雄, 榊原貴教 大空社, 2001 ※総目次・総索引 別巻1は「明治期翻訳文学総合年表」

○**現代日本文芸総覧** / 小田切進。— 増補改訂。— 明治文献資料刊行会, 1992.12

○**近代文学研究叢書** 昭和女子大学近代文学研究室編刊 76冊別巻1冊 ※明治から昭和30年までに亡くなった作家(小説家、詩人、歌人、俳人など)を没年順に収録、2001年に終刊。各作家の伝記、著作、文学上の位置づけ、関係文献、遺族・遺跡などを記載し、個人書誌といえる。

○**日本幻想作家事典** / 東雅夫, 石堂藍。— 国書刊行会, 2009.10 ※SFやマンガ、ジュブナイルやアダルトなど広く作家を収録する。

・**大阪文学書目** / 浦西和彦。— 遊文舎, 2010.8 ※『日本近代文学大事典』を改訂する方向が現在見あたらず、かわりに地方ごとにそれを超えようとする動きのひとつ。

○**現代詩** / 和田博文[他]。— 日外アソシエーツ, 2006.10 ※戦前の詩作品の索引だが、マイナーな詩人についての人物文献も引ける。

◎**国文学論文目録データベース** <http://base1.nijl.ac.jp/~ronbun/> ※全掲。国文学研究所所蔵のマイクロ資料目録、和古書目録、国文学論文目録を検索できる。

◎日本古典文学本文データベース http://base3.nijl.ac.jp/Rcgi-bin/hon_home.cgi

◎青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/> ※無料公開のインターネット図書館。著作権が切れた著作を公開している。

■IV-3-2 和歌・短歌

□作者、作品など

- ・日本古典文学大辞典 p30 IV -3-1 文学 を参照
- ・和歌大辞典 p30 IV -3-1 文学を参照
- ・新編和歌の解釈と鑑賞事典 p30 IV -3-1 文学 を参照
- ・現代短歌大事典 p30 IV -3-1 文学 を参照

□出典しらべ

○新編国歌大観 第1-10巻「新編国歌大観」編集委員会。一 角川書店、1983-1992、同 CD-ROM版 ver.2
監修『新編国歌大観』編集委員会 角川書店 2003 ※勅撰和歌集、万葉集、私家集、私撰集、歌合、古歌等を収録。
万葉集から近世におよぶ和歌を検索するための、網羅的、代表的なツール。CD-ROM版は冊子体10巻1,162集の歌
集本文と解題を収録。句検索、語彙検索、歌集・歌番号検索、勅撰集作者検索などが可能。同じ歌でも作者の判別が
“よみ人しらず”など出典によって異なる場合がある。名前がことば書きからの場合がある。区別に気をつける。

○校註国歌大系 28冊(第1巻～第28巻)国民図書株式会社編 講談社、1976 ※国民図書株式会社1928～31年刊
の複製 記紀歌謡から二十一代集、中古諸歌集、近代諸家集を経て明治初期諸歌集までを収録。総合索引・頭注索
引を付す。

○典拠検索名歌辞典 中村薫編 東出版、1995 明治書院昭和15年刊の複製 ※上代から近世までの名歌約8,000
首を収録。本文は歌の五十音順排列。作者と出典を記す。索引は引歌索引でどの句からもひける。

○近世和歌撰集成 上野洋三編 明治書院、1985-1988 第1巻～第3巻 3冊 ※第1巻は地下編、第2巻は堂上
編上、第3巻は堂上編下。近世初期から中期の和歌57,000首を収録。索引は第3巻堂上編の後半部分にある。初句索
引で各撰集番号・各撰集略称・歌番号を表示。人名索引を付す。現代語訳は、出典が明らかになれば、これらの解
説を付した文献を検索する。

○日本古典文学大系 岩波書店、1957-1978 別巻第1-2 ※同大系全100巻の総索引。別巻第1-2は、和歌・俳
句・連歌・連句・狂歌・川柳・歌謡・和讃および漢詩の「初句索引」。また、作品に注解の施された語句のうち重要なも
のについて「語句・事項索引」を付す。

○物語和歌総覧 本文編 索引編 久曾伸昇、樋口芳麻呂、藤井隆 風間書房、1974、1976 ※物語(創作物語 物
語歌集 御伽草子等。歴史・軍記物語を除く)所収の和歌を収録。全句索引あり。

○上代説話事典 / 大久間喜一郎、乾克己。一 雄山閣出版、1993.5 ※上代説話について詳述した事典であるが、
巻末に「引用和歌・歌謡索引」があり、古事記、日本書記、風土記、万葉集、日本霊異記などの説話に含まれる和歌、
歌謡を調べられる。

○新校群書類従 第23巻 索引 1(歌集部) 塙保己一。一 内外書籍、昭11至12

○現代短歌分類辞典 p30 IV -3-1 文学 を参照 ※明治・大正・昭和の短歌約60万首を対象とし、単語を50音順、
品詞別に排列している。歌の全形と作者を知ることができる。

■IV-3-3 漢詩の出典・書き下し・現代語訳

□出典しらべ

・大漢和辞典 p29 IV -2-5 漢和辞典を参照。 ※熟語は中国の古典や詩などから数多く収録しており、出典の調
査の手掛かりとなる。

○漢詩大観 上中下 索引2巻 / 佐久節。一 復刊。一 鳳出版、1974.6 ※作者、出典、全文がわかる。索引2巻

末に「索引音引」がある。現代語訳はない。

○**佩文韻府(はいぶんいんぷ)** 張玉書等編 上海書店, 1983 4冊 ※清の聖祖康熙帝の勅命により編纂され、詩文の創作と詞章の検索に供するもの。經史子集の書にみえる2字から4字までの語彙を集め、それを下の字の韻によって分類している。出典・用例を広く掲載しているが、語彙の解釈はない。索引では語句の頭字から検索できる。出典調査に有用だが、四角號碼からの検索、文字が細かい等、使いづらい。なお、『クラウン中日辞典』(松岡榮志〔ほか〕編著 三省堂 2002)には四角號碼が記されている。『文淵閣四庫全書電子版』により検索可能。

○**漢語大詞典** 第2版 漢語大詞典出版社, 2001 22冊 ※全12巻22冊に文言から現代中国語に至る語彙を網羅的に収録している。

○**全唐詩索引** 史成編 上海古籍出版社, 1990 ※中国漢詩の時代が特定されている場合に便利。同様に、国内刊行の『全漢詩索引』『全三国詩索引』『全晋詩索引』(以上3冊松浦崇編、權歌書房、1984、85、87)『全梁詩索引』(佐藤利行他編、白帝社、2000)などがある。

○**日本詩紀本文と総索引** 本文編 / [市河寛斎][他]。— 勉誠出版, 2003.2 ※日本漢詩の出典確認が可能。

○**日本詩紀本文と総索引** 索引編 上下 / 高島要。— 勉誠出版, 2003.2 ※日本漢詩の出典確認が可能。

○**東瀛詩選本文と総索引** 本文編 / 兪[エツ][他]。— 勉誠出版, 2007.2 ※日本漢詩の出典確認が可能。

○**東瀛詩選本文と総索引** 索引編 3冊 / 高島要。— 勉誠出版, 2007.2 ※日本漢詩の出典確認が可能。

◎**「全梁詩」検索**(広島大学中国語学中国文学講座) <http://home.hiroshima-u.ac.jp/cbn/rikucho/ryo/ryo.htm>

※全梁詩データの検索ページ。語句、詩題から検索できる。典拠は「先秦漢魏晉南北朝詩」。

□書き下し・解釈

○**中国名詩鑑賞辞典** 山田勝美著 角川書店, 1978 ※巻末に「成句索引」あり。

○**漢詩名句辞典** 鎌田正、米山寅太郎著 大修館書店, 1980 ※巻末に「詩句索引」、「作者別詩題索引」、「語句索引」。中国人・日本人両方の漢詩を収録。

○**唐詩鑑賞辞典** 前野直彬編 東京堂出版, 1970 ※巻末に「重要語句索引」、「人名索引」、「地名索引」、「助字索引」、「画引索引」(詩題索引)あり。『宋詩鑑賞辞典』(前野直彬編、東京堂出版、1977年、巻末に「訓読詩題索引」、「画引詩題索引」)もあり。

○**漢詩の事典** / 松浦友久[他]。— 大修館書店, 1999.1 ※中国人・日本人両方の漢詩を収録。巻末に、漢詩の作り方、主要原典の解説、漢詩を読むための文献案内、漢詩年表、総合索引、作者別詩題索引、地図を付す。

○相島宏「中国詩詞翻訳索引-1-宋代」『アジア資料通報』31(1) p.2-54 (1993.1) ※宋代の詩人の作品で邦訳されたものが掲載されている資料名、ページ数を詩人毎に調べることができる。同様に「中国詩詞翻訳索引-2-遼・金・元代」『参考書誌研究』(58) p.33-59 (2003.3)、「中国詩詞翻訳索引-3-明代」『参考書誌研究』(61) p.108-187 (2004.10) <http://navi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn60-69.php>、「中国詩詞翻訳索引-4-清代」『参考書誌研究』(62) p.187-258 (2005.3) <http://navi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn60-69.php>、「中国詩詞翻訳索引(5)先秦～隋代」『参考書誌研究』(63) p.180-280 (2005.10) <http://navi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn60-69.php>、「中国詩詞翻訳索引(6)唐・五代」『参考書誌研究』(70) p.1-382 (2009.3) <http://navi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn70-79.php>がある。

・**中国学芸大事典** p20 II-1-4 世界史を参照 ※文学を主体として中国の学芸全般にわたり、学術用語、人名、書名、名編秀句など、約9,000項目について解説する。同一著者の『日本漢文学大事典』(近藤春雄 明治書院 1985)もある。

■IV-4 翻訳文献

○**明治・大正・昭和翻訳文学目録** 国立国会図書館編 風間書房, 1959年 ※収録は明治から昭和30年(1955)までの文学書で邦訳された図書を作家別に収録。第2部 明治元年-45年は雑誌・新聞掲載分も収録。国会図書館未所蔵資料も掲載。

○**翻訳図書目録** 明治・大正・昭和戦前期、45/76、77/84、84/88、88/92、92/96、1996/2000、2000/03、2004-2007、2008-2010 日外アソシエーツ、1984-2011年 36冊 ※日本語に翻訳された図書の一覧で、各年代とも総記・人文・社会、科学・技術・産業、芸術・言語・文学の3～4分冊で刊行。CD-ROM版も刊行されている。『CD・翻訳図書目録 45/92』総記・人文・社会編、芸術・文学編、『同1992-2000』(CD-ROM)もあり。

○**全集・合集収載翻訳図書目録** 45/75、76/92 1992-2007日外アソシエーツ、1995-2009 9冊 ※『翻訳図書目録』と同様の形式で全集や選集などに掲載された翻訳図書を著者名から検索できる。

○**世界文学総覧シリーズ 日外アソシエーツ** ※『世界文学全集・内容総覧』『同 作家名総覧』『同 作品名総覧』『世界文学個人全集内容総覧』など。

○**英米小説原題邦題事典 新訂増補版** 日外アソシエーツ、2003 ※1945年から2002年までに翻訳刊行された英語圏の作家 6,683人の小説・戯曲翻訳書 26,602点(原題作品数 20,090点)を作家の50音順に収録。映画化作品は映画タイトルを併記。邦題索引あり。

○**翻訳小説全情報** 45/92 93/97 98/2000 2001/03 2004-2006 2007-2009 作家名総索引 日外アソシエーツ、1994-2010 6冊 ※日本語に翻訳された小説、戯曲を著者の五十音順に排列。巻末に原綴索引、書名索引を付す。

○**明治期翻訳文学総合年表** 大空社 2001 ※明治期に発表された西洋文学翻訳作品を発表年月日順に編集した年表形式の書誌。新聞雑誌掲載作品のほか、単行本も収録する。『明治翻訳文学全集 新聞雑誌編』の別巻1。別巻2は、同全集全50巻の『総目次・総索引』で、巻末に書誌「明治期翻訳文学年表・目録書誌」あり。

○**図説翻訳文学総合事典 第1-5巻** / 川戸道昭、榊原貴教編著：[セット]。一 大空社：ナダ出版センター、2009

○**人文・社会翻訳記事論文索引** 1981-1990 / 日外アソシエーツ株式会社、1999.1 ※国内の雑誌、年報、研究報告など2,000誌と、単行論文集1,000冊に翻訳掲載された人文・社会科学系の論文、一般記事、法令、海外資料などを収録。見出しは原著者。無著者として「法令」「資料・報告書」「古典・史料」「仏典・聖典」「民話」等を原典の国別に記載。巻末に訳者名、事項名索引を付す。

○**イギリス文学案内：代表的作家の生涯・主要作品・文学史年表・翻訳文献等の立体的便覧** 野町二、荒井良雄編著 増補改訂版 広川治、逢見明久増補 朝日出版社、2002 ※作家ごとに翻訳文献が一覧できる。他に『フランス文学案内』(篠沢秀夫著、1996)『ドイツ文学案内』(岡田朝雄、リンケ珠子著 2000)『ロシア文学案内』(中村喜和、灰谷慶三、島田陽著、1977)『アメリカ文学案内』(寺門泰彦、渡辺信二、武田千枝子、佐藤千春、矢作三蔵、水谷八也著、2008)。

○**世界文学総合目録 第1巻(イギリス編 1(あ～し))** / 川戸道昭、榊原貴教。一 大空社、2010.12

■研究論文の一部としての翻訳

作品全体の翻訳がなくても、NDL-OPAC雑誌記事索引や下記『××文学研究文献要覧』などで研究文献の中に、一部の翻訳が見つかる場合もある。

○**英米文学研究文献要覧** 45/64 75/84 85/89 90/94 95/99 2000/2004 2005/2009 安藤勝編 日外アソシエーツ 7冊 1987-2011 ※他に『フランス語フランス文学研究文献要覧』(日本フランス語フランス文学会編、1984-2006)、『中国文学研究文献要覧』(吉田誠夫〔ほか〕、川合康三〔ほか〕編集、1979-2008)、『ドイツ文学研究文献要覧』(森本浩介編集、1979)がある。

◎**Index Translationum** ; UNESCO Culture Sector <http://www.unesco.org/xtrans/>

◎**日本文学翻訳書誌検索**(国際交流基金)

http://www.jpf.go.jp/JF_Contents/InformationSearchService?ContentNo=13&SubsystemNo=1&HtmlName=search.html

◎**外国語に翻訳刊行された日本の児童書情報** <http://mavi.ndl.go.jp/childbook/honyaku.php>

■V 前近代の科学

○**日本陰陽暦日対照表** 加唐興三郎編 ニットー、1991-93 2冊 ※445年(允恭天皇34)から1872年(明治5)の旧暦

年月日の干支と西暦年月日の対照表。1685年(貞享2年1月1日)より曜日の記載もある。類書に1253年(建長5)から1582年(天正10)までの「和洋暦換算対照表」「西暦換算による日本史年表」を収録した『和洋暦換算事典』(釣洋一著 新人物往来社 1995年)がある。

○**平成・万年暦** 改訂版 福田有典著 天象学会, 2001 1冊 ※1897年から2043年までの西暦、皇紀、元号年、新暦、旧暦、十干十二支、九星、七曜、六曜が対照できる。

・**東方年表** ※p17 II-1-3日本史「年表」を参照。紀元前660年から1997年までの、西暦、干支、中国、朝鮮、日本の帝王、年号などを対照。

○**数え方の辞典** 飯田朝子著 小学館, 2004 1冊 ※名詞項目約4,600語について、どのような助数詞を用いるかを示す。また、助数詞や助数詞と同じ働きをする名詞など約600語について意味、用法を解説する。

○**洋学史事典** 日蘭学会編 雄松堂出版, 1984 1冊 ※1541年から1882年頃までにヨーロッパから日本に導入された学問と、関連する人物、書物、事象など約3,000項目を収録。巻末に人名、書名、事項の各索引と洋学年表などの付録を付す。

○**日本洋学編年史** 増訂者: 佐藤英七 錦正社, 1965 1冊 ※大槻如電の『新撰洋学年表』を訂正増補したもので、洋学研究の基本文献。1536年(天文5)から1877年(明治10)までを収録。巻末に索引を付す。

○**日本博物誌年表** 磯野直秀著 平凡社, 2002 1冊 ※古代から慶応4年(1868年)までを収録。白井光太郎氏の『改訂増補 日本博物学年表』や上野益三氏の『年表日本博物学史』を土台としている。巻末に人名、書名、事項の各索引を付す。

○**日本災変通志** 池田正一郎著 新人物往来社, 2004 1冊 ※193年から1877年までに日本で起きた災害(地震、火事、大雨、津波、疫病など)を、編年順に典拠史料をあげながら紹介する。巻末に大地震、噴火、飢饉などからの検索が可能な索引を付す。

○**中国医学史レファレンス辞典** / 関久美子ほか中国医学文献研究会[他]. — 白帝社, 2011.1

(おわり)